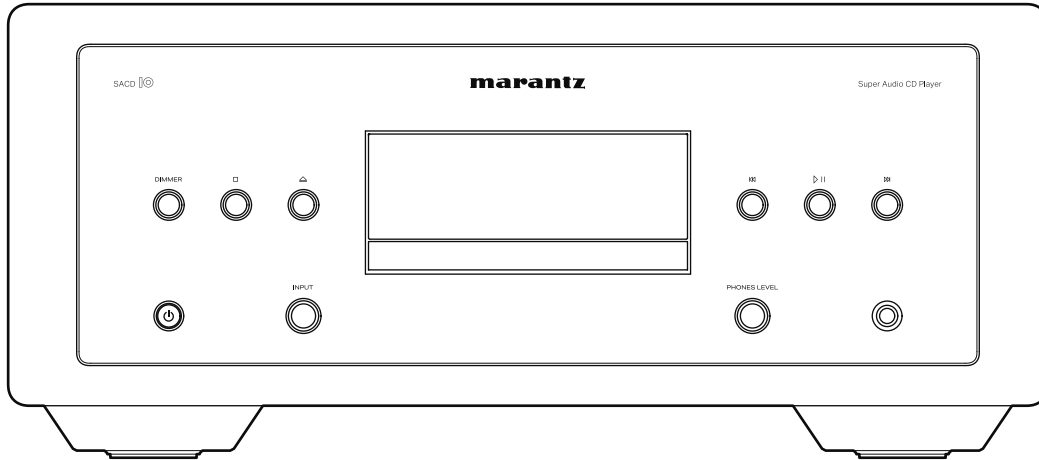



marantz



SACD  | Super Audio CD Player

取扱説明書

目次

使用上のご注意	5
携帯電話使用時のご注意	5
お手入れについて	5
結露(つゆつき)について	5
換気についてのご注意	5
移動させるときのご注意	5
付属品	6
乾電池の入れかた	7
リモコンの使いかた	7
各部の名前	8
フロントパネル	8
リアパネル	11
リモコン	13
接続のしかた	
アンプを接続する	20
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	22
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	23
パソコンまたは Mac と接続する	24
USB 端子に USB メモリーを接続する	25
外部のコントロール機器を接続する	26
FLASHER IR IN 端子	26
リモートコントロール端子(REMOTE CONTROL)	27
電源コードを接続する	29

再生のしかた

基本操作	31
電源を入れる	31
電源をスタンバイにする	31
入力ソースを選択する	32
ディスプレイの明るさを切り替える	32
イルミネーションおよびディスプレイの点灯/消灯を切り替える	33
CD およびスーパーオーディオ CD を再生する	34
CD およびスーパーオーディオ CD を再生する	34
スーパーオーディオ CD の最優先再生レイヤーを切り替える	37
データ CD およびデータ DVD を再生する	38
ファイルを再生する	39
USB メモリーを再生する	41
USB メモリーに保存されているファイルを再生する	42
D/A コンバーター機能で再生する	44
パソコンと接続して再生する(USB-DAC)	45
デジタル機器と接続して再生する(Coaxial/Optical 1/Optical 2)	53

設定のしかた

設定メニュー 一覧	54
設定メニューの操作のしかた	55
Audio	56
Filter	56
Dither	56
Noise Shaper	57
Digital Out	57
HP Amplifier Gain	58
Resume Play	58
General	59
Illumination	59
Auto-Standby	59
リモコンのアンプ/ストリーミングプリアンプ操作モードを無効にする	60
アンプ操作モードを無効にする	61
ストリーミングプリアンプ操作モードを無効にする	61
リモコンの音量調節ボタンの操作対象機器を設定する	62
SACD プレーヤー操作モード時の音量調節ボタンの操作対象機器を設定する	63

困ったときは

こんなときの解決方法	65
故障かな?と思ったら	67
電源が入らない / 電源が切れる	68
リモコンで操作ができない	69
本機のディスプレイが表示されない	70
音がまったく出ない	70
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	71
希望する音が出ない	71
USB メモリーが再生できない	72
ディスクが再生できない	73
ディスクトレイが開き始めるまでに時間が掛かる	73
パソコン内や Mac 内の音楽ファイルが再生できない (USB-DAC)	74
デジタル機器の音声を再生できない (Coaxial/Optical)	74
保証と修理について	75

付録

ディスクの再生について	77
USB メモリーの再生について	80
ファイルの再生順番について	82
フォルダとファイルについて	82
メディア使用時のご注意	83
ディスクの入れかた	83
メディアの取り扱いについて	84
ディスクのお手入れのしかた	84
デジタル入力	85
用語の解説	86
主な仕様	88
索引	91

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1~2 時間放置してから使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

ステレオ音のエチケット




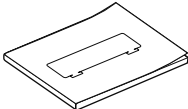
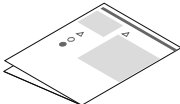
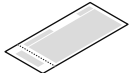
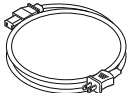
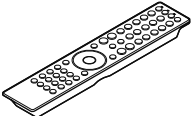

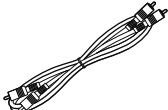
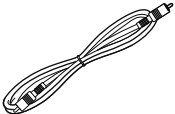
音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。

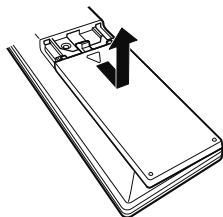
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

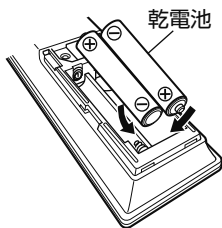
 かんたんスタートガイド	 取扱説明書(本書)	 安全にお使いいただくために	 保証書
 電源コード【本機専用】	 リモコン (RC004PMND)	 単4形乾電池(2本)	 オーディオケーブル
 リモート接続ケーブル			

乾電池の入れかた

- 裏ぶたを矢印の方向へ押し上げて取り外す。



- 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



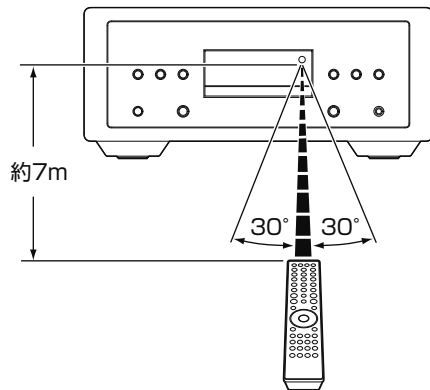
- 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

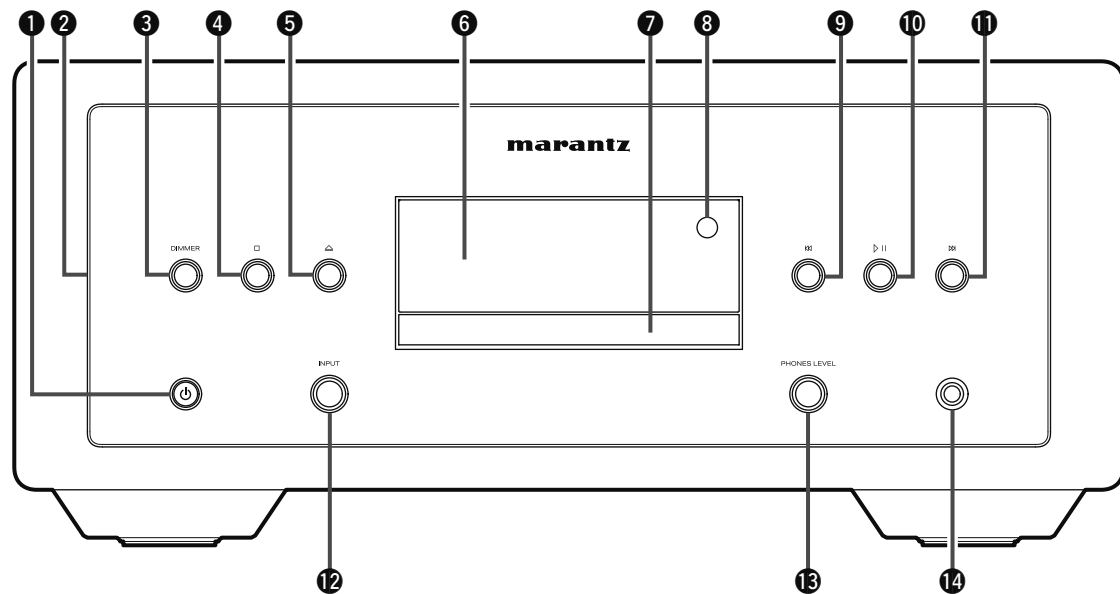
リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。

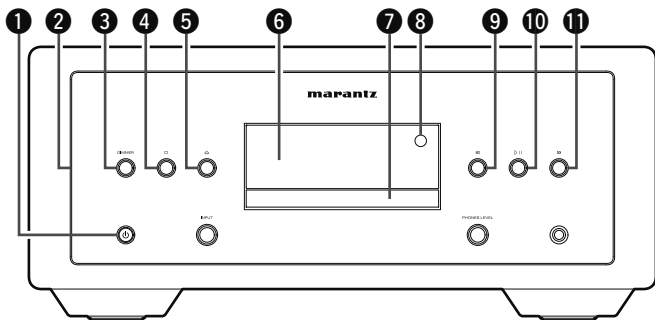


各部の名前

フロントパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。



① 電源ボタン(⏻)/電源表示

- 電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(☞31 ページ)
- 電源の状態によって、次のように点灯します。
 - 電源オン時: 白色
 - スタンバイ時: 消灯
 - 保護回路動作時: 橙色(点滅)

② イルミネーション

電源をオンにすると点灯します。明るさを調節したり消灯したりできます。

- 「イルミネーションおよびディスプレイの点灯/消灯を切り替える」(☞33 ページ)
- 「Illumination」(☞59 ページ)

③ ディマーボタン(DIMMER)

ディスプレイの明るさを調節します。(☞32 ページ)

④ ストップボタン(⏻)

再生中にボタンを押すと、停止します。

⑤ ディスクトレイ開閉ボタン(⏻)

ディスクトレイを開閉します。(☞34 ページ)

⑥ ディスプレイ

各種情報を表示します。

⑦ ディスクトレイ

ディスクを挿入します。

⑧ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(☞7 ページ)

⑨ スキップボタン(⏮)

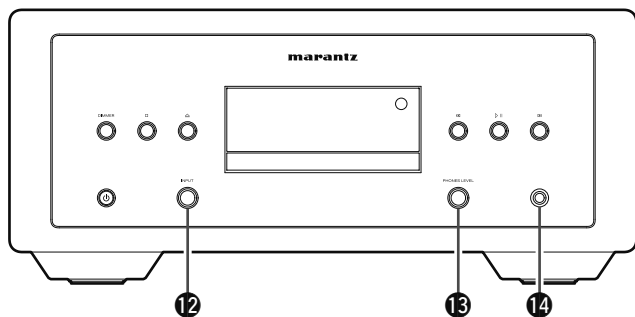
再生中にボタンを押すと、現在の曲の先頭から再生するか、前の曲を再生します。

⑩ プレイ/ポーズボタン(⏮)

再生中にボタンを押すと、一時停止します。一時停止または停止中に押すと、再生を再開します。

⑪ スキップボタン(⏭)

再生中にボタンを押すと、次の曲を再生します。



12 入力ソース切り替えつまみ (INPUT)

入力ソースを選択します。(P.32 ページ)

13 ヘッドホン音量調節つまみ (PHONES LEVEL)

ヘッドホンの音量を調節します。

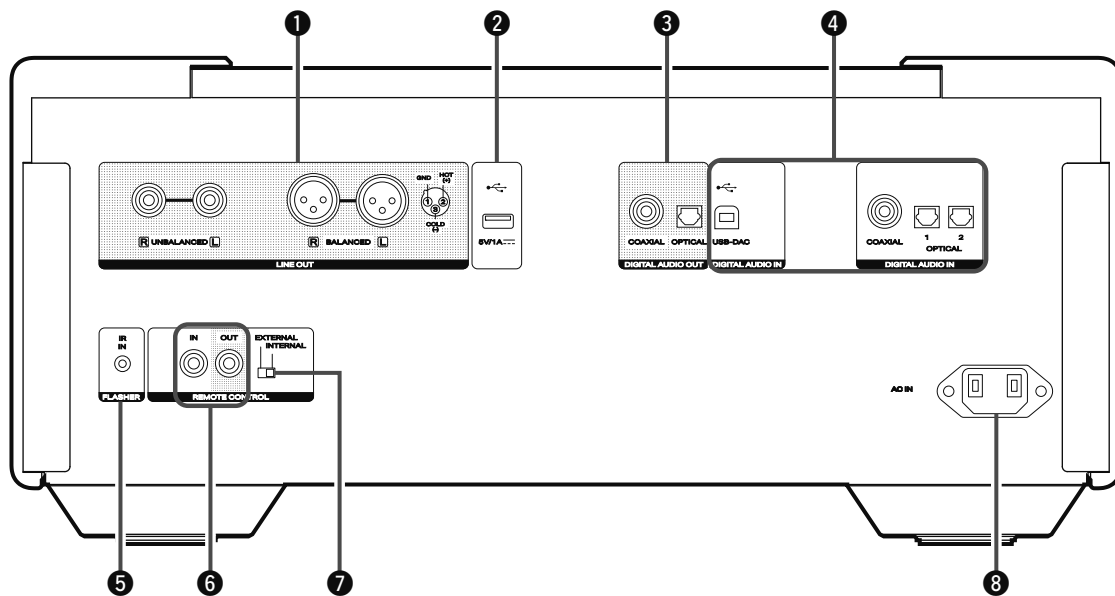
14 ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。

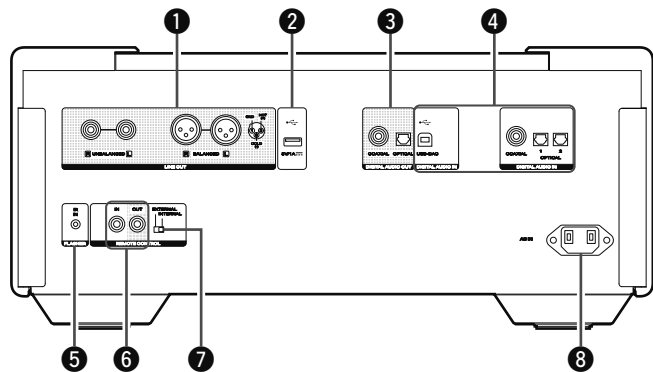
ご注意

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

リアパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。



① アナログ音声出力端子(LINE OUT)

アナログ音声入力端子付きの機器や外部のアンプを接続します。(P.20 ページ)

② USB 端子

USB ストレージ(USB メモリーなど)を接続します。(P.25 ページ)

③ デジタル音声出力端子(DIGITAL AUDIO OUT)

デジタル音声入力端子付きのアンプや D/A コンバーターを接続します。(P.22 ページ)

④ デジタル音声入力端子(DIGITAL AUDIO IN)

- デジタル音声出力端子付きの機器を接続します。(P.23 ページ)
- パソコンまたは Mac を接続します。(P.24 ページ)

⑤ FLASHER IR IN 端子

コントロールボックスなどを接続します。(P.26 ページ)

⑥ リモートコントロール入出力端子(REMOTE CONTROL)

リモートコントロール機能に対応している Marantz 製オーディオ機器を接続します。(P.27 ページ)

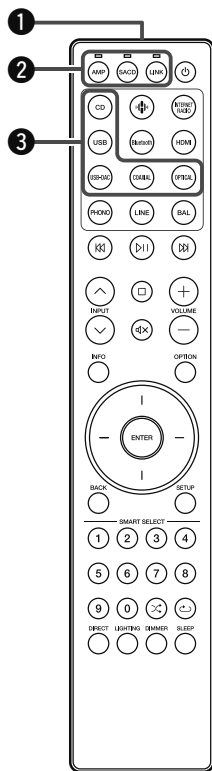
⑦ EXTERNAL/INTERNAL スイッチ

アンプとリモート接続してスイッチを“EXTERNAL”に切り替えると、アンプがリモコン信号を受信し、本機はアンプからのリモコン信号を受けて動作します。(P.27 ページ)

⑧ AC インレット(AC IN)

電源コードを接続します。(P.29 ページ)

リモコン



付属のリモコンは本機だけでなく、Marantz 製のアンプおよびストリーミングプリアンプを操作することができます。

- 「アンプの操作」(P.16 ページ)
- 「ストリーミングプリアンプの操作」(P.17 ページ)

■ 本機の操作

本機を操作するときは、SACD を押して、リモコンを本機の操作モードに切り替えてください。

① リモコン信号送信窓

リモコンの信号を送信します。(P.7 ページ)

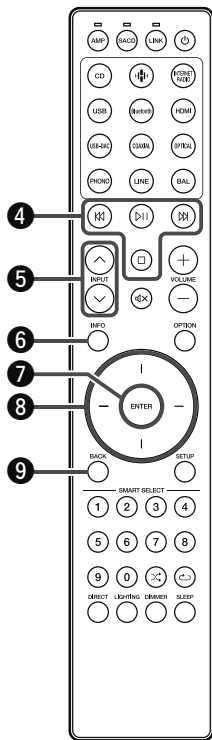
② リモコン操作モードボタン/表示(AMP/SACD/LINK)

- リモコンの操作モード(AMP/SACD/LINK)を切り替えます。
- 操作している機器に応じてリモコン操作モード表示が点灯します。

③ 入力ソース選択ボタン

(CD/USB/USB-DAC/COAXIAL/OPTICAL)

入力ソースを選択します。(P.32 ページ)



④ システムボタン

再生に関する操作をします。

- プレイ/ポーズボタン(⏮)

再生中にボタンを押すと、一時停止します。一時停止または停止中に押すと、再生を再開します。

- スキップボタン(⏭)

再生中にボタンを押すと、次の曲を再生します。

- スキップボタン(⏮)

再生中にボタンを押すと、現在の曲の先頭から再生するか、前の曲を再生します。

- 停止ボタン(⏹)

再生中にボタンを押すと、停止します。

⑤ 入力ソース切り替えボタン(INPUT ^v)

入力ソースを選択します。(P.32 ページ)

⑥ インフォメーションボタン(INFO)

ディスプレイに表示する、再生中の曲情報を切り替えます。

⑦ エンターボタン(ENTER)

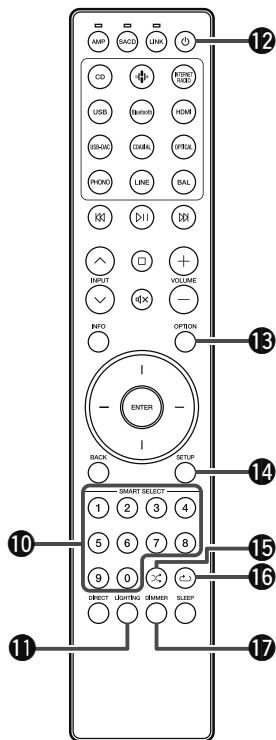
選択した内容を確定します。

⑧ カーソルボタン

項目を選択します。

⑨ バックボタン(BACK)

ひとつ前の項目に戻ります。



⑩ 数字ボタン(0~9)

数値を入力します。

⑪ ライティングボタン(LIGHTING)

イルミネーションとディスプレイを点灯/消灯します。(P.33 ページ)

⑫ 電源ボタン(⏻)

電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(P.31 ページ)

⑬ オプションボタン(OPTION)

- スーパーオーディオ CD の最優先再生レイヤーを切り替えます。(P.37 ページ)
- データ CD/DVD の再生範囲を選択します。(P.40 ページ)
- USB メモリーの再生範囲を選択します。(P.43 ページ)

⑭ セットアップボタン(SETUP)

ディスプレイに設定メニューを表示します。(P.55 ページ)

⑮ ランダムボタン(⌘)

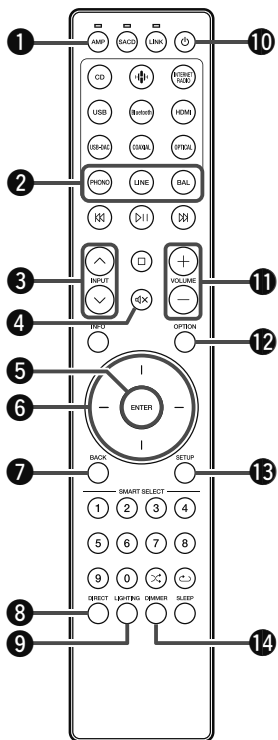
ランダム再生をします。

⑯ リピートボタン(↺)

リピート再生をします。

⑰ ディマーボタン(DIMMER)

ディスプレイの明るさを調節します。(P.32 ページ)



■ アンプの操作

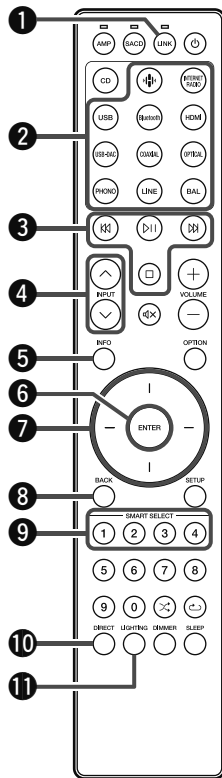
Marantz 製アンプを操作できます。

アンプを操作するときは、AMP ボタンを押してリモコンをアンプ操作モードに切り替えてください。

- ① リモコン操作モード選択ボタン(AMP)
- ② 入力ソース選択ボタン(PHONO/LINE/BAL)
- ③ 入力ソース切り替えボタン(INPUT ^/v)
- ④ ミュートボタン(⏻)
- ⑤ エンターボタン(ENTER)
- ⑥ カーソルボタン
- ⑦ バックボタン(BACK)
- ⑧ ダイレクトボタン(DIRECT)
- ⑨ ライティングボタン(LIGHTING)
- ⑩ 電源ボタン(⏻)
- ⑪ 音量調節ボタン(VOLUME +/-)
- ⑫ オプションボタン(OPTION)
- ⑬ セットアップボタン(SETUP)
- ⑭ ディマーボタン(DIMMER)



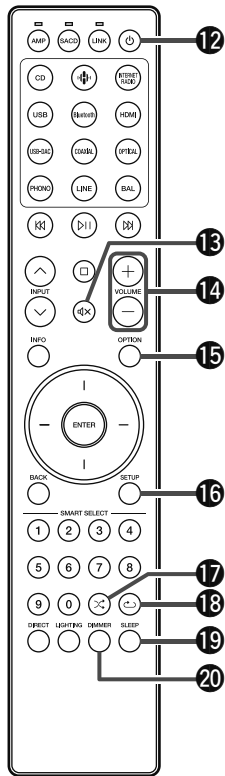
- 一部操作ができない製品もあります。



■ ストリーミングプリアンプの操作

Marantz 製ストリーミングプリアンプを操作できます。
ストリーミングプリアンプを操作するときは LINK ボタンを押して、リモコンをストリーミングプリアンプの操作モードに切り替えてください。

- ① リモコン操作モードボタン(LINK)
- ② 入力ソース選択ボタン
- ③ システムボタン
- ④ 入力ソース切り替えボタン(INPUT \wedge \vee)
- ⑤ インフォメーションボタン(INFO)
- ⑥ エンターボタン(ENTER)
- ⑦ カーソルボタン
- ⑧ バックボタン(BACK)
- ⑨ スマートセレクトボタン(SMART SELECT 1~4)
- ⑩ ダイレクトボタン(DIRECT)
- ⑪ ライティングボタン(LIGHTING)



- ⑫ 電源ボタン(⏻)
- ⑬ ミュートボタン(🔇)
- ⑭ 音量調節ボタン(VOLUME +)
- ⑮ オプションボタン(OPTION)
- ⑯ セットアップボタン(SETUP)
- ⑰ ランダムボタン(⌘)
- ⑱ リピートボタン(∞)
- ⑲ スリープタイマーボタン(SLEEP)
- ⑳ ディマーボタン(DIMMER)



• 一部操作ができない製品もあります。

接続のしかた

■ 目次








アンプを接続する	20
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	22
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	23
パソコンまたは Mac と接続する	24
USB 端子に USB メモリーを接続する	25
外部のコントロール機器を接続する	26
電源コードを接続する	29

ご注意

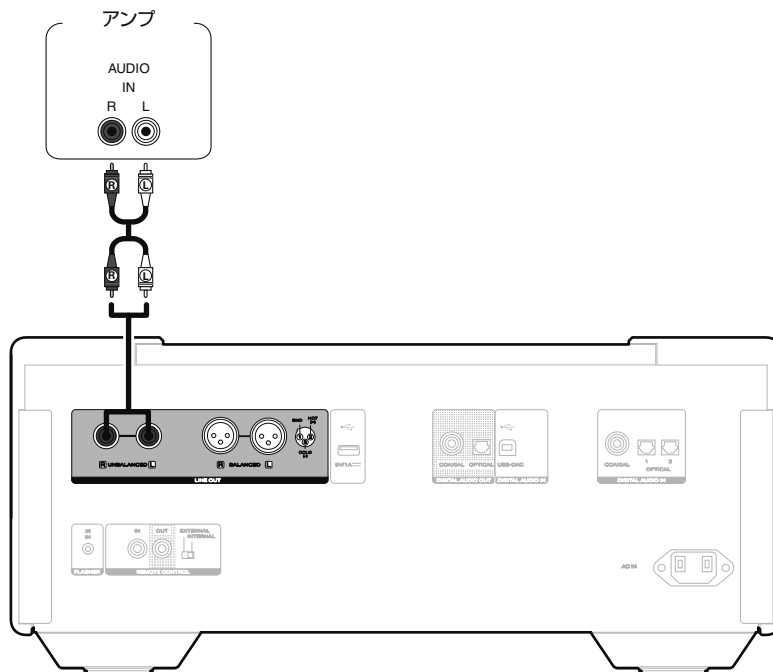
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。

オーディオケーブル (付属)	
バランスケーブル (市販)	
リモート接続ケーブル (付属)	
光デジタルケーブル (市販)	
同軸デジタルケーブル (市販)	
USB ケーブル (市販)	
モノラルミニプラグケーブル (市販)	

アンプを接続する

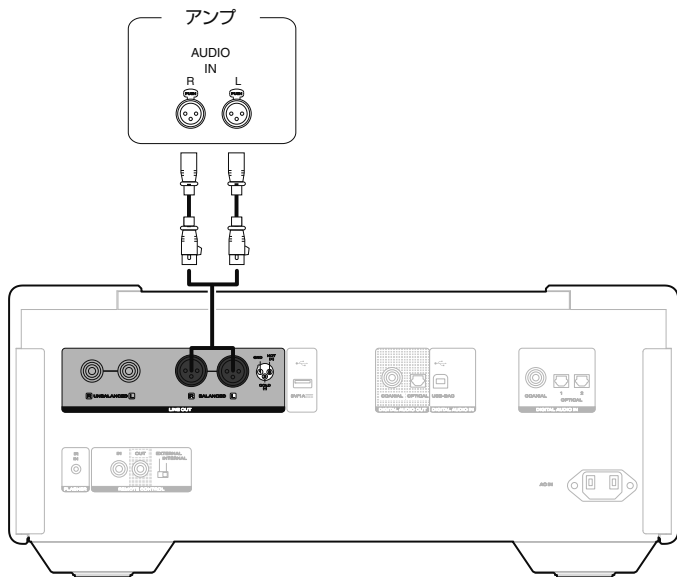


■ バランス端子について

本機には、アンバランス端子の他にバランス端子を搭載しています。バランス端子は3ピン構造のため、音声信号を平衡信号で伝送でき、外来ノイズの影響を少なくすることができます。また、着脱ロック機構のためコネクタ部のぐらつきが少なく、信頼性が高いといった特長があります。



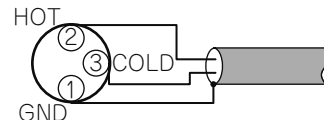
- バランス接続は全段バランス構成です。



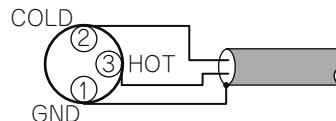
■ バランス端子の位相について

XLR 端子の接続方法には2とおりのタイプがあります。本機では、ヨーロッパ方式を採用しています。

- ヨーロッパ方式(② PIN=HOT / ③ PIN=COLD)



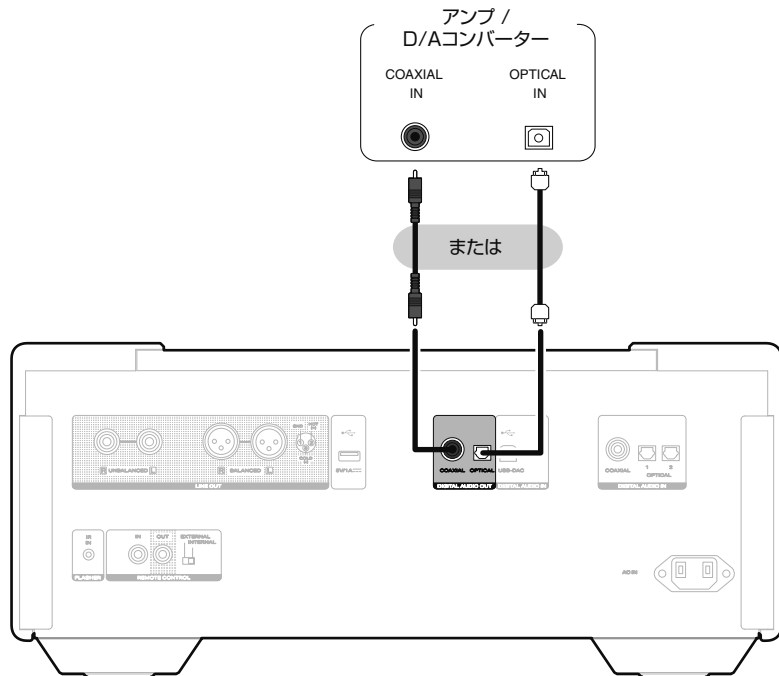
- USA 方式(② PIN=COLD / ③ PIN=HOT)



本機と USA 方式を採用している製品をバランスケーブルで接続すると、信号が逆位相になります。信号の位相を正しくするには、片側の XLR 端子の ②PIN と ③PIN を逆につなぎ換えてください。

デジタル音声入力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声入力端子付きのアンプや D/A コンバーターを接続すると、デジタル音声を再生できます。

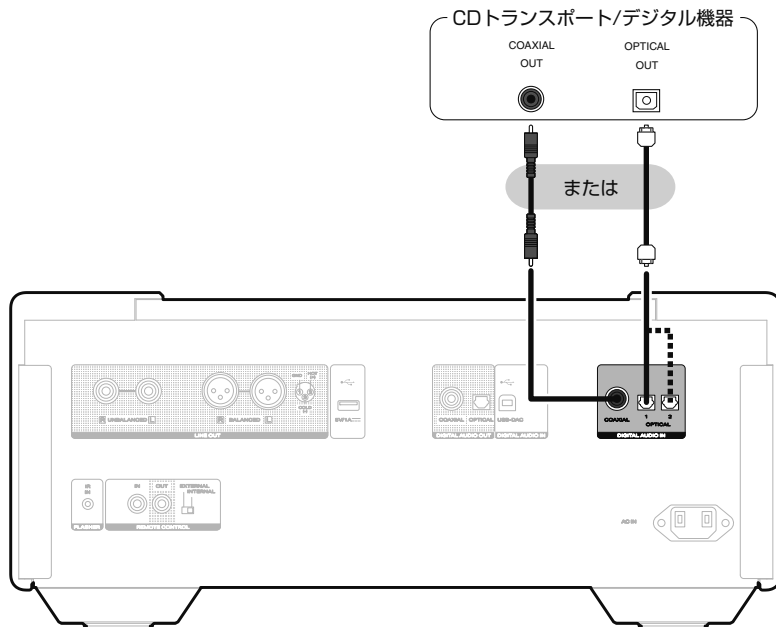


ご注意

- 本機の USB-DAC 機能を使用して、DSD 信号およびサンプリング周波数が 352.8/384kHz のリニア PCM 信号を再生した場合は、デジタル音声出力を停止します。
- USB メモリー、データ CD およびデータ DVD を使用して DSD ファイルを再生した場合は、デジタル音声出力が停止します。
- スーパーオーディオ CD の HD レイヤーの再生中は、デジタル音声出力を停止します。
- 設定メニューの "Digital Out" でデジタル音声出力のオン/オフを設定できます。(57 ページ)
- デジタル音声端子を持つ録音機器を接続することはお勧めしません。

デジタル音声出力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声信号を入力すると、本機の D/A コンバーターで D/A 変換をおこなって再生できます。(☞ 44 ページ)



■ 再生できる音声信号の仕様

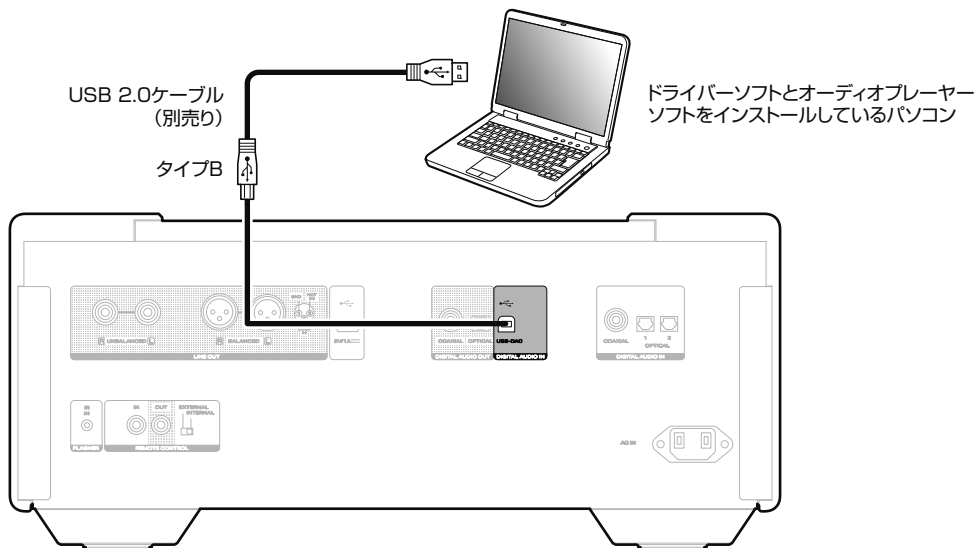
「デジタル入力」(☞ 85 ページ)をご覧ください。

パソコンまたはMacと接続する

本機のリアパネルのUSB端子(USB-DAC)とパソコンをUSBケーブル(市販)で接続すると、パソコンの音楽データを本機のD/Aコンバーターで再生できます。(P.44 ページ)

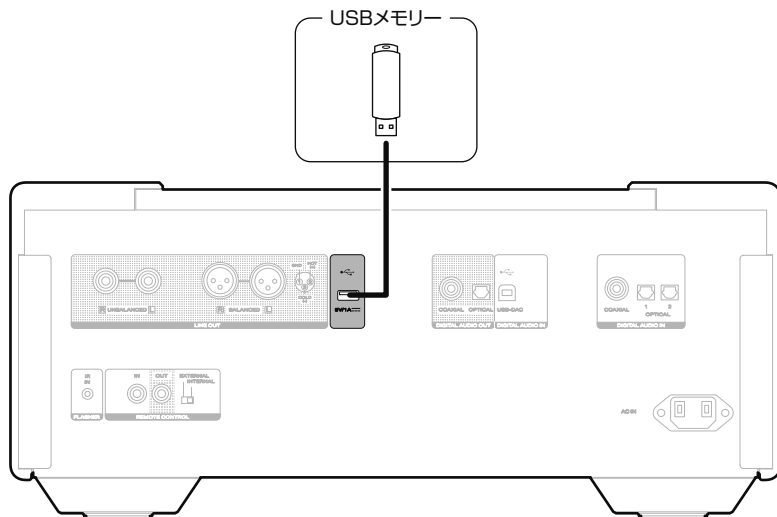
ご注意

- 本機とパソコンをUSB接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。(P.45 ページ)
- ドライバーソフトは当社ウェブサイトのSACD 10のページからダウンロードしてください。
- パソコンとの接続には、3m以下のケーブルをご使用ください。



USB 端子に USB メモリーを接続する

操作のしかたは、「USB メモリーを再生する」をご覧ください。(P.41 ページ)



- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

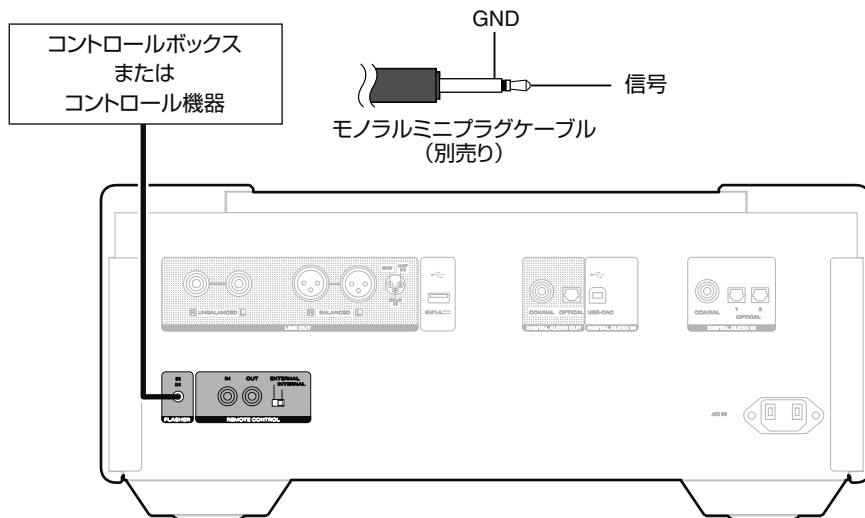
ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。パソコンと接続するときは、USB-DAC 端子(タイプ B)と接続してください。
- USB メモリーを接続するときは、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。

外部のコントロール機器を接続する

FLASHER IR IN 端子

コントロールボックスなどを接続することにより、本機をコントロールできます。



- FLASHER IR IN 端子を使用する場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。

リモートコントロール端子(REMOTE CONTROL)

本機を MODEL 10 および LINK 10n と組み合わせて接続すると、次の機能をご使用いただけます。

- MODEL 10 または LINK 10n が受信したリモコン信号を本機に送信する機能
- 本機、MODEL 10 および LINK 10n の電源連動機能
 - 本機の電源をオンにすると、MODEL 10 および LINK 10n の電源もオンになります。
 - 本機の電源がスタンバイになると、MODEL 10 および LINK 10n の電源もスタンバイになります。

次の「接続」と「設定」をおこなってください。

■ 接続

付属のリモート接続ケーブルで、本機のリモートコントロール入力端子(REMOTE CONTROL IN)と MODEL 10 または LINK 10n のリモートコントロール出力端子(REMOTE CONTROL OUT)を接続します。

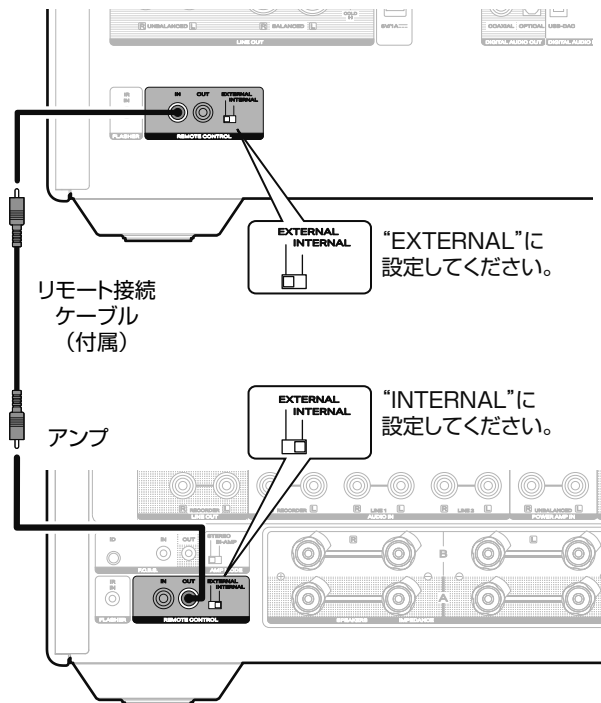
■ 設定

1. 本機の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“EXTERNAL”に切り替える。
 - 本機はリモコン受光部の受信を停止します。
2. MODEL 10 または LINK 10n の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替える。
 - リモコンは MODEL 10 または LINK 10n のリモコン受光部に向けて操作してください。



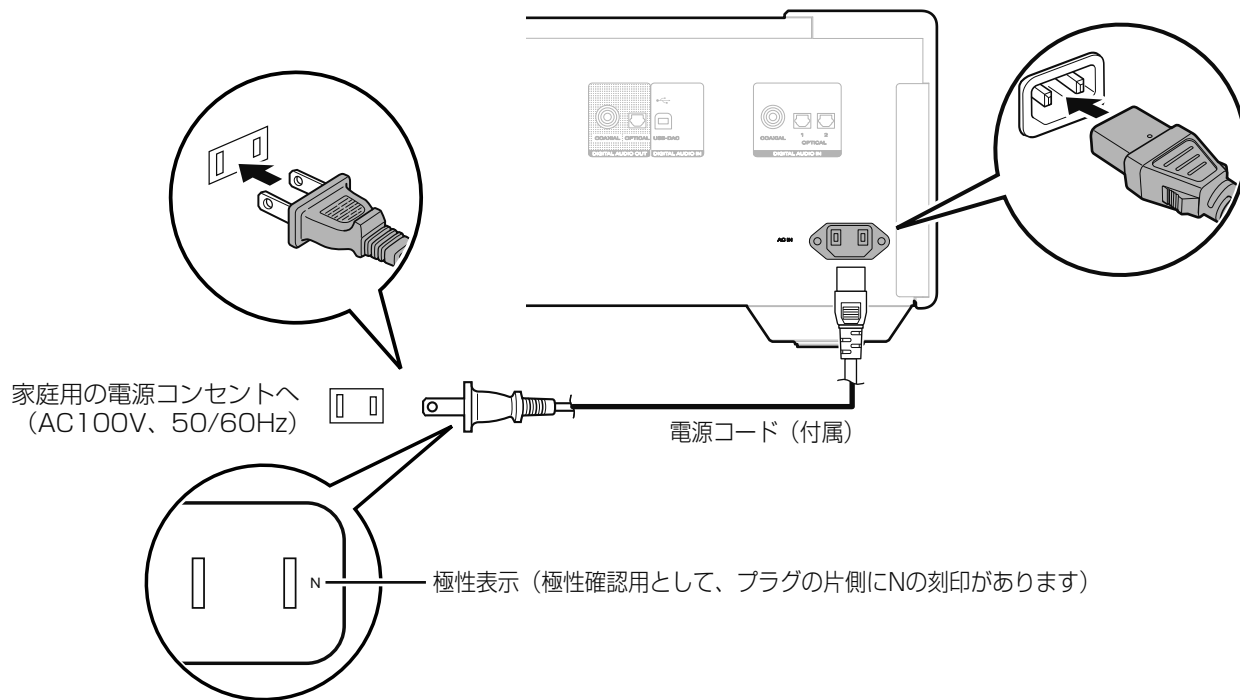
- アンプを接続せずに本機のみご使用になる場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。

本機



電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



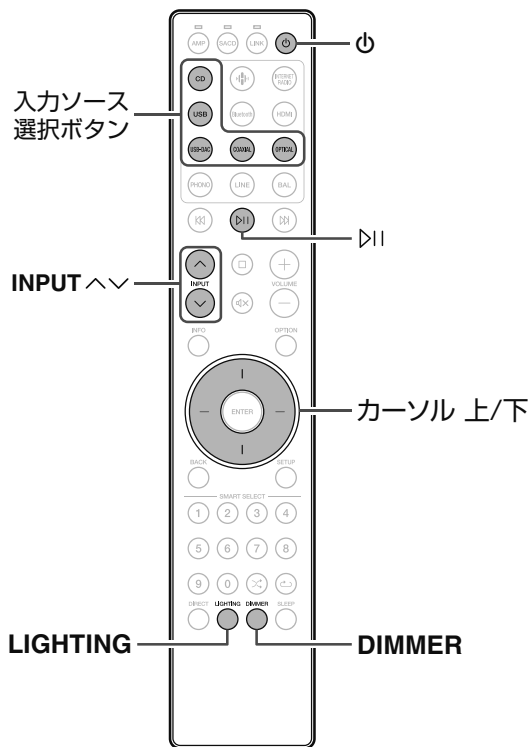
- 付属の電源コードには、極性を表示しています。お好みの音質になるようにコンセントへ差し込んでください。

再生のしかた

■ 目次

基本操作	31
CD およびスーパーオーディオ CD を再生する	34
データ CD およびデータ DVD を再生する	38
USB メモリーを再生する	41
D/A コンバーター機能で再生する	44

基本操作



電源を入れる

1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。



- 本体の電源ボタンを押しても、スタンバイ状態から電源を入れることができません。
- play/pause ボタンを押しても、スタンバイ状態から電源を入れることができます。

電源をスタンバイにする

1 電源ボタンを押す。
スタンバイ状態になります。



- 本体の電源ボタンを押しても、スタンバイ状態にすることができます。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

入カソースを選択する

1 再生する入カソース選択ボタン(CD/USB/USB-DAC/COAXIAL/OPTICAL)を押す。

ディスプレイに選んだ入カソースを表示します。



- 本体の INPUT を回しても、入カソースを選択できます。
- OPTICAL を押すたびに Optical 1 および Optical 2 が切り替わります。
- INPUT へ下ボタンを押しても、入カソースを選択できます。

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさは、100%からオフ(0%)まで5%刻みで調節できます。ディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 DIMMER を押す。

ディスプレイにディマーメニューを表示します。

2 カーソル 上/下を押してディスプレイの明るさを調節する。

- DIMMER を押してもディスプレイの明るさを調節できません。



- お買い上げ時のディスプレイの明るさの設定は 100%です。
- ディスプレイが消灯しているときにボタン操作をおこなうと、100%の明るさで一時的に情報を表示します。
- ディスプレイの明るさの設定は、設定メニューの“Illumination” - “Display”の設定と連動します。(p.59 ページ)
- LIGHTING を押して消灯した状態では、DIMMER ボタン操作がはたらかしません。

イルミネーションおよびディスプレイの点灯/消灯を切り替える

イルミネーションおよびディスプレイの点灯/消灯を切り替えます。イルミネーションおよびディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができません。

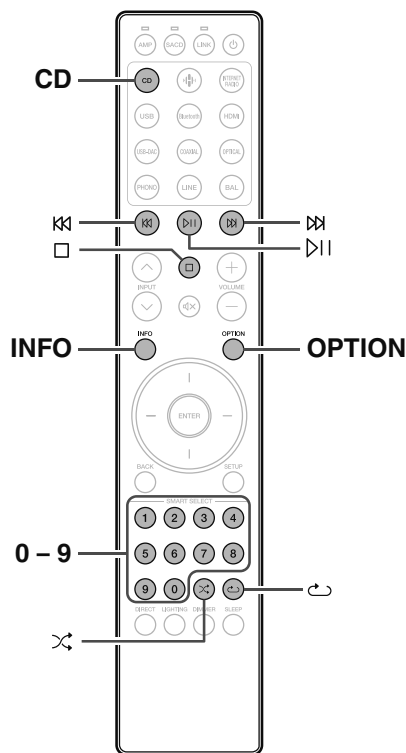
1 LIGHTING を押す。

- ボタンを押すたびに、イルミネーションおよびディスプレイの点灯/消灯を切り替えます。



- 設定メニューの“Illumination”では、イルミネーションおよびディスプレイの明るさを設定できます。(P.59 ページ)
- LIGHTING を押して点灯させると、イルミネーションおよびディスプレイの明るさが設定メニューの“Illumination”で設定した明るさで点灯します。(P.59 ページ)

CDおよびスーパーオーディオCDを再生する



CDおよびスーパーオーディオCDを再生する

1 CD を押して、入カソースを“CD” に切り替える。

2 本体の \triangle を押して、ディスクを入れる。



- $\triangleright||$ を押しても、ディスクトレイを閉めることができます。この操作をおこなった場合、自動的に再生をはじめます。

3 スーパーオーディオCD を再生するときは、OPTION を押して再生レイヤーを切り替える。

STEREO (お買い上げ時の設定):	スーパーオーディオCDの2チャンネルエリアを再生します。
MULTI:	スーパーオーディオCDのマルチチャンネルエリアを再生します。 また、マルチチャンネルを2チャンネルにダウンミックスして再生します。
CD:	スーパーオーディオCDのCDレイヤーを再生します。



- この操作をおこなわない場合、最優先再生レイヤーの設定に応じてレイヤーの読み込みを自動的にはじめます。(P.37 ページ)

4 ▶IIを押す。

ディスプレイの▶表示が点灯し、再生をはじめます。

ご注意

- ディスクトレイにはディスク以外の物を入れないでください。故障の原因となります。
- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。

操作ボタン	機能
▶II	再生/一時停止
□	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し)早戻し/早送り
0~9	曲の選択
⚡	ランダム再生
↺	リピート再生 • 全曲リピートと1曲リピートを切り替えます。
INFO	時間表示切り替え • 再生曲の経過時間、再生曲の残り時間および全曲の残り時間の表示を切り替えます。 • スーパーオーディオ CD に収録されているテキスト情報をディスプレイに表示します。
OPTION	スーパーオーディオ CD の再生レイヤー切り替え

■ ディスプレイの表示を切り替える

INFO を押す。

メディアに記録されているテキストや時間情報を表示します。

- テキスト情報はスーパーオーディオ CD でのみ表示します。
- ディスプレイ表示に対応していない文字は、“(ピリオド)”に置き換えて表示します。

■ 再生できるディスクについて

- 「ディスクの再生について」(P.77 ページ)をご覧ください。

■ 好きな曲を聴く(ダイレクト選曲)

1 0～9 を押して、曲を選ぶ。

【例】

4 曲目:

数字ボタンの 4 を押す。

12 曲目:

数字ボタンの 1 と 2 を続けて押す。

- 数字ボタンを押してから約 1.5 秒後に入力が入力が確定します。
2 桁の番号を押すときは数字ボタンを続けて押してください。

スーパーオーディオ CD の最優先再生レイヤーを切り替える

ディスク挿入後に優先的に再生するレイヤーを設定できます。

- 1 CD を押して、入力ソースを“CD”に切り替える。
- 2 ディスクが入っていないことを確認する。
 - ディスク挿入後にレイヤーの切り替えをおこなうと、そのディスクの再生レイヤーは切り替わりますが、最優先再生レイヤーの設定は変わりません。
- 3 OPTION を押して、再生するレイヤーを切り替える。

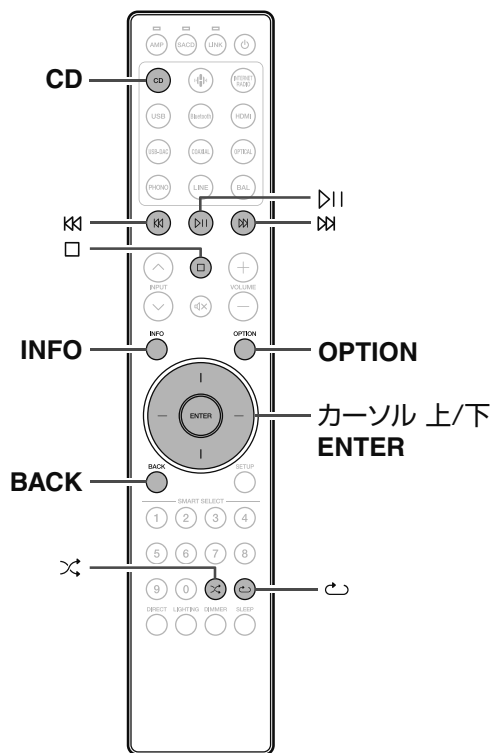
STEREO (お買い上げ時の設定):	スーパーオーディオ CD の 2 チャンネルエリアを再生します。
MULTI:	スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルエリアを再生します。 また、マルチチャンネルを 2 チャンネルにダウンミックスして再生します。
CD:	スーパーオーディオ CD の CD レイヤーを再生します。



- 最優先再生レイヤーを設定後、ディスクを読み込んだときに再生するレイヤーを表示します。
- 最優先に設定したレイヤーを含まないディスクを読み込んだとき、自動的に他のレイヤーを表示します。
- この設定は、ディスクトレイの開閉や電源のオン/オフをおこなっても解除されません。設定を変更したい場合は、設定し直してください。
- ディスク挿入後や、ディスプレイに“Open”を表示しているときは、最優先再生レイヤーの設定はできません。
- 最優先再生レイヤーに設定したエリアやレイヤーがないディスクのレイヤー検出順位は、次のとおりです。

- ① STEREO
- ② MULTI
- ③ CD

データ CD およびデータ DVD を再生する



- ここでは、CD-R/-RW および DVD-R/-RW/+R/+RW に記録している音楽ファイルの再生のしかたを説明します。
- インターネット上には多くの音楽配信サイトがあり、音楽ファイルをダウンロードすることができます。それらのサイトからダウンロードした音楽(ファイル)を CD-R/-RW および DVD-R/-RW/+R/+RW に書き込むことにより、本機で再生できます。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「再生できるファイルの仕様」をご覧ください。(P.78 ページ)

- MP3
- WMA
- AAC
- WAV
- FLAC
- Apple Lossless
- AIFF
- DSD

ご注意

- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- また、書き込みソフトやその他の要因により再生できない場合や正しく表示できない場合があります。

“Windows Media” および “Windows” は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

ファイルを再生する

- 1 CD を押して、入力ソースを“CD” に切り替える。
- 2 本体の \triangle を押して、音楽ファイルが保存されている CD-R/-RW または DVD-R/-RW/+R/+RW をディスクトレイに入れる。
- 3 カーソル 上/下および BACK を押してフォルダを選び、ENTER を押す。
- 4 カーソル 上/下を押してファイルを選び、ENTER を押す。
再生をはじめます。

操作ボタン	機能
\triangleright	再生/一時停止
□	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し)早戻し/早送り
BACK	1 つ上の階層に移動
カーソル 上/下	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
OPTION	曲の再生範囲の選択
⌘	ランダム再生
↺	リピート再生 • 全曲リピートと 1 曲リピートを切り替えます。
INFO	アルバム名およびファイルフォーマットの表示切り替え



- CD-R/-RW または DVD-R/-RW/+R/+RW 再生中に別のファイルを再生する場合は、まず BACK を押して階層表示をおこなってください。次にカーソル 上/下を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押してください。

■ ディスプレイの表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

- アルバム名およびファイルフォーマットの表示を切り替えます。
- テキスト情報に対応しないファイルや曲名が記録されていないファイルの場合、ファイル名を表示します。
- ディスプレイ表示に対応していない文字は、“.(ピリオド)”に置き換えて表示します。


■ 再生できるファイルについて

- 「再生できるファイルの仕様」をご覧ください。(P.78 ページ)

■ 再生範囲を切り替える

停止中に OPTION を押す。

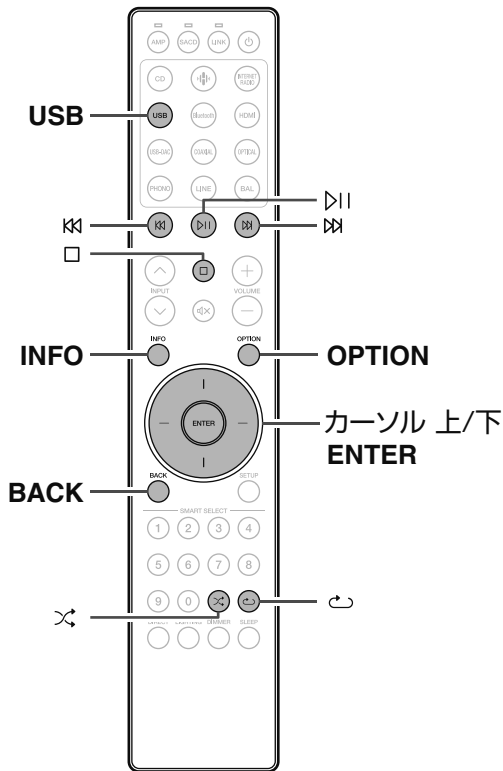
- 曲の再生範囲を設定できます。

フォルダ再生モード:	選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。このとき、ディスプレイに  を表示します。
全曲再生モード:	ディスク内のすべての曲を再生します。



- 再生範囲を“全曲再生モード”にすると、フォルダの階層を表示しません。

USBメモリーを再生する



- USBメモリーに保存されている音楽ファイルを再生できます。
- 本機は、マスタースレージクラスに対応しているUSBメモリーのみ再生できます。
- USBメモリーは、“FAT16”または“FAT32”フォーマットに対応しています。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「USBメモリーの再生について」(P.80ページ)をご覧ください。

- WMA
- MP3
- WAV
- MPEG-4 AAC
- FLAC
- Apple Lossless
- AIFF
- DSD

USB メモリーに保存されているファイルを再生する

1 USB メモリーを USB 端子に接続する。(P.25 ページ)

2 USB を押して、入力ソースを“USB”に切り替える。



- 設定メニューの「Resume Play」(P.58 ページ)を “On” に設定すると、自動的に再生をはじめます。

3 BACK を押す。

ディスプレイにファイル/フォルダリストを表示します。



- □ を押して再生を停止しても、ファイル/フォルダリストを表示します。

4 カーソル 上/下を押してフォルダを選び、ENTER を押す。

5 カーソル 上/下を押してファイルを選び、ENTER を押す。

再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶	再生/一時停止
□	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し)早戻し/早送り
BACK	1 つ上の階層に移動
カーソル 上/下	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
OPTION	曲の再生範囲の選択
⌘	ランダム再生
↺	リピート再生 • 全曲リピートと 1 曲リピートを切り替えます。
INFO	アルバム名およびファイルフォーマットの表示切り替え



- USB メモリー再生中に別のファイルを再生する場合は、まず BACK を押して階層表示をおこなってください。次にカーソル 上/下を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押してください。


ご注意

- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本機に USB メモリーを接続すると、本機は USB メモリーのすべてのファイルを読み込みます。USB メモリーにフォルダ数やファイル数が多い場合、読み込みに時間がかかることがあります。

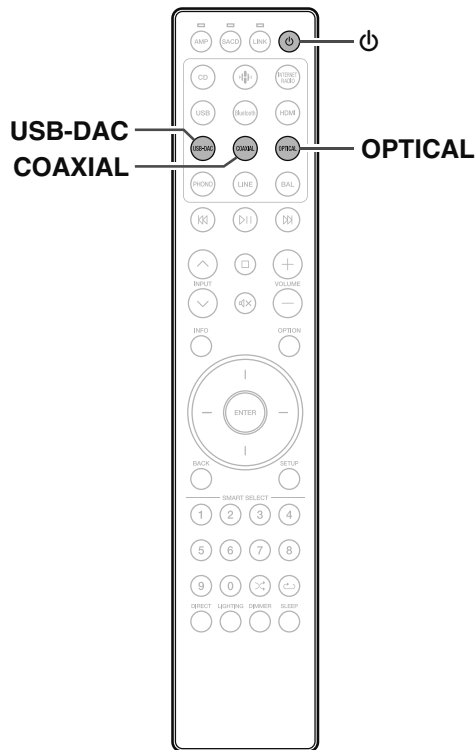
■ 再生範囲を切り替える

OPTION を押す。

- 曲の再生範囲を設定できます。

フォルダ再生モード:	選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。このとき、ディスプレイに  を表示します。
全曲再生モード:	USB メモリー内のすべての曲を再生します。

D/A コンバーター機能で再生する



外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を本機の D/A コンバーターでアナログ変換して出力できます。(D/A コンバーター機能)

- DSD は、登録商標です。
- Microsoft、Windows 10 および Windows 11 は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- Apple、Macintosh、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

パソコンと接続して再生する(USB-DAC)

パソコンに保存している音楽ファイルを USB 接続で本機に入力すると、本機に搭載している D/A コンバーターで、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。

- 本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。
- macOS をご使用の場合は、ドライバーソフトのインストールは必要ありません。
- パソコンの再生プレーヤーには市販品またはダウンロード可能なお好みのプレーヤーソフトをご使用ください。

■ パソコン(動作環境)

OS

- Windows 10 および Windows 11
- macOS 13 および 14

USB

- USB 2.0: USB High speed/USB Audio Class Ver. 2.0

ご注意

- 当社ではこれらの動作環境で確認をしていますが、すべてのシステムでの動作を保証するものではありません。

Windows OS

専用ドライバーソフトのインストール(☞45 ページ)

macOS

オーディオ装置の確認(☞51 ページ)

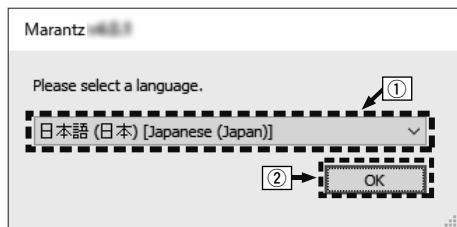
■ 専用ドライバーソフトのインストール (Windows OS のみ)

□ パソコンへドライバーソフトをインストールする方法

- 1 **本機とパソコンの USB 接続を解除する。**
 - 本機とパソコンを USB 接続しているとドライバーソフトを正しくインストールできません。
 - パソコンにドライバーソフトをインストールする前に本機と USB 接続してパソコンを立ち上げた場合は、USB 接続を解除して、パソコンを再起動してください。
- 2 **ご使用のパソコンに、当社ウェブサイト SACD 10 のページの“ダウンロード”から専用ドライバーをダウンロードする。**
- 3 **ダウンロードファイルを解凍し、.exe ファイルをダブルクリックする。**

4 ドライバーソフトをインストールする。

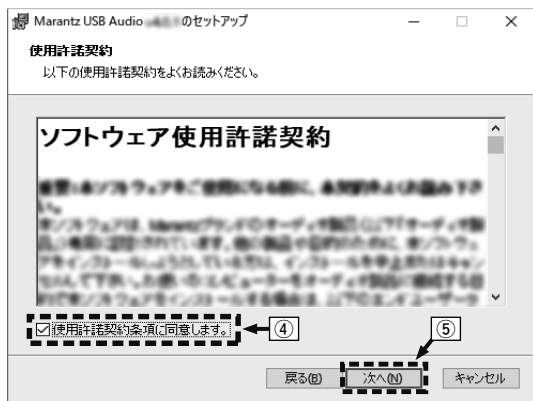
- ① インストール作業をおこなう言語を選ぶ。
- ② “OK”をクリックする。



- ③ ウィザードメニューが表示されたら “次へ(N)” をクリックする。



- ④ ソフトウェア使用許諾メニューを読み、“使用許諾契約条項に同意します。”を選ぶ。
- ⑤ “次へ(N)”をクリックする。



- ⑥ インストール先を選び、“次へ(N)”をクリックする。



⑦ インストール開始ダイアログの“インストール”をクリックする。

- インストールをはじめます。インストールが終了するまでパソコンの操作をしないでください。



⑧ インストール終了画面を表示したら“完了(F)”をクリックする。



5 本機の電源をオフにしたまま、本機とパソコンをUSBケーブル(市販)で接続する。

- 接続のしかたは「パソコンまたは Mac と接続する」をご覧ください。(P.24 ページ)

6 電源を押す。

- 本機の電源がオンになると、パソコンは自動的に本機を検出して接続をおこないます。

7 USB-DAC を押して、入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。

8 インストールしたドライバーを確認する。

- ① パソコンの“コントロールパネル”を開く。
 - コントロールパネルの設定一覧を表示します。
- ② “サウンド”をクリックする。
 - サウンドメニュー画面を表示します。
- ③ “再生”タブの“SACD 10”に“既定のデバイス”のチェックマークがあることを確認する。
 - 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“SACD 10”を選択してから“既定値に設定”をクリックしてください。

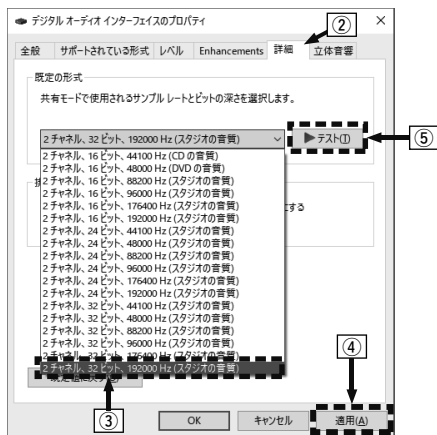
9 音声出力を確認する。

パソコンからテスト信号を出力して USB-DAC 機能の音声出力を確認します。

- ① サウンドメニュー画面の“SACD 10”を選び、“プロパティ(P)”をクリックする。
 - プロパティ画面を表示します。




- ② “詳細”タブをクリックする。
- ③ D/A 変換をおこなうサンプリング周波数とビット数を選ぶ。
 - “2 チャンネル、32 ビット、192000 Hz(スタジオの音質)”に設定することをおすすめします。
- ④ “適用(A)”をクリックする。
- ⑤ “テスト(T)”をクリックする。
 - 本機からパソコンの音声が出力されることを確認します。

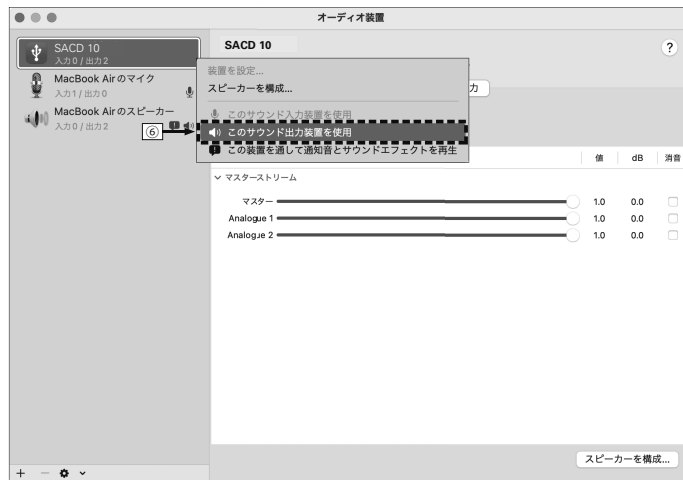


ご注意

- 専用ドライバーはパソコンと本機を USB 接続する前にインストールしてください。ドライバーのインストール前に本機とパソコンを接続すると正しく動作しません。
- サンプリング周波数 352.8kHz/384kHz のファイルをダウンサンプリングせずに再生する場合は、ASIO (Audio Stream Input Output) ドライバーに対応したプレーヤーソフトが必要です。ASIO ドライバーでの再生は、ご使用のプレーヤーソフトをご確認ください。
- パソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、動作しない場合があります。
- 本機を使用してパソコンからの音楽が正しく再生できない場合、<https://support-jp.marantz.com/>の FAQ をご参照ください。また、使用するプレーヤーソフトのサポートページもご確認ください。

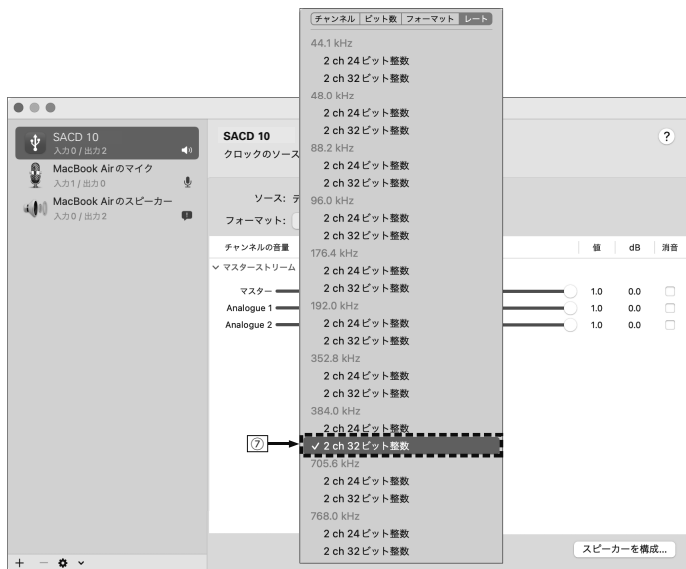
■ オーディオ装置の確認(macOS のみ)

- ① 本機の電源をオフにしたまま、本機と Mac を USB ケーブル (市販) で接続する。
 - 接続のしかたは「パソコンまたは Mac と接続する」をご覧ください。(P.24 ページ)
- ②  を押す。
- ③ USB-DAC を押して、入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。
- ④ パソコン画面の“移動”にカーソルを合わせ、“ユーティリティ”をクリックする。
 - ユーティリティの一覧を表示します。
- ⑤ “Audio MIDI 設定”をダブルクリックする。
 - “オーディオ装置”画面を表示します。
- ⑥ “SACD 10”に、“このサウンド出力装置を使用”のチェックマークがあることを確認する。
 - 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“SACD 10”を選択してクリックし、“このサウンド出力装置を使用”を選択してください。



⑦ “SACD 10”のフォーマットを選択する。

- “2 ch 32ビット整数 384.0 kHz”に設定することをおすすめします。



⑧ Audio MIDI 設定を終了する。

■ 再生

あらかじめご使用のパソコンにお好みのプレーヤーソフトをインストールしてください。

本機のリアパネルの USB 端子(USB-DAC)にパソコンを接続してください。(P.24 ページ)

1 USB-DAC を押して、入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。

パソコンのプレーヤーソフトで再生をはじめます。

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Signal Unlock”を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。

■ 再生できる音声信号の仕様

「デジタル入力」(P.85 ページ)をご覧ください。

ご注意

- 再生、停止などはパソコンで操作してください。本体のボタンおよびリモコンでは操作できません。
- 本機が D/A コンバーターとして機能しているときは、パソコン本体のスピーカーから音声は出力されません。
- パソコンの再生ソフトを起動中に、本機とパソコンの接続をはずすと、再生ソフトがフリーズすることがあります。必ず再生ソフトを終了してから接続をはずしてください。
- パソコン側で異常が発生したときは、USB ケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- 再生ソフトのサンプリング周波数と本機のサンプリング周波数表示が異なることがあります。
- パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。

デジタル機器と接続して再生する (Coaxial/Optical 1/Optical 2)

1 デジタル機器を接続する。(☞23 ページ)

2 COAXIAL または OPTICAL を押して、入力ソースを“Coaxial”、“Optical 1”または“Optical 2”に切り替える。

- OPTICAL を押すたびに、入力ソースが“Optical 1”または“Optical 2”に切り替わります。

3 本機に接続した機器を再生する。

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Signal Unlock”を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。

■ 再生できる音声信号の仕様

「デジタル入力」(☞85 ページ)をご覧ください。

ご注意

- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

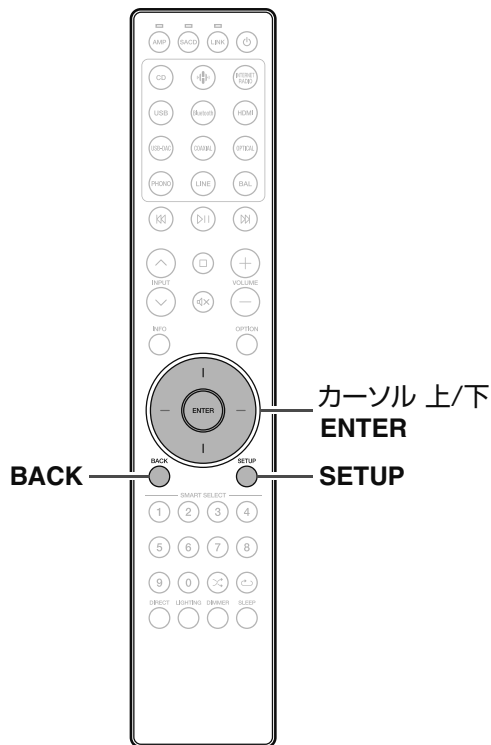
設定のしかた

設定メニュー 一覧

設定メニューの操作をおこなうときは、参照ページをご覧ください。

お買い上げ時の設定をおすすめの設定にしております。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズすることができます。

設定項目	詳細項目	内容	ページ
Audio	Filter	本機にはお好みの音質で再生をお楽しみいただけるように音質の調節機能を搭載しています。	56
	Dither	この機能はノイズシェーパ内量子化器の誤差を最小化するため、入力された音声信号に微小かつランダムな値を加えます。設定を変えることで S/N 比がわずかに変化し、音質も変わります。お好みに合わせて設定してください。	56
	Noise Shaper	デジタル負帰還を使用し、可聴帯域のリニアリティ、ノイズ特性を改善します。設定を変えても性能は変わりませんが、音質は変わります。お好みに合わせて設定してください。	57
	Digital Out	デジタル音声出力を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。	57
	HP Amplifier Gain	ヘッドホンアンプのゲインを設定します。	58
	Resume Play	USB メモリーの再生中に、入力ソースの切り替えや USB メモリーの抜き差し、または電源の入れ直しをおこなった場合、再生を中断した曲を記憶し、その曲の先頭から再生することができます。	58
General	Illumination	フロントパネルのイルミネーションとディスプレイの明るさを調節できます。また、フロントパネルのイルミネーションをディスプレイの明るさに連動させることもできます。明るさを“Off”にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生がおこなえます。	59
	Auto-Standby	音声の入力がない状態で本機を約 15 分間操作しないとき、自動的にスタンバイになるように設定します。	59



設定メニューの操作のしかた

- 1 **SETUP** を押す。
ディスプレイに設定メニューを表示します。
- 2 **カーソル 上/下** を押して設定または操作したい設定メニューを選び、**ENTER** を押す。
- 3 **カーソル 上/下** を押して好みの設定に変更する。
- 4 **ENTER** を押して設定を確定する。
 - 前の項目に戻るときは、**BACK** を押してください。
 - 設定メニューを終了するときには、設定メニュー表示中に **SETUP** を押してください。通常表示に戻ります。

Audio

Filter

本機にはお好みの音質で再生をお楽しみいただけるように音質の調節機能を搭載しています。PCM 入力信号に対応しています。

Filter 1
(お買い上げ時の設定):

インパルス応答は、プリエコー、ポストエコー共に短い特性です。非常に正確なサウンドステージとスムーズなトーンバランスです。

Filter 2:

非対称インパルス応答と呼ばれる特性を持ったフィルターです。プリエコーに対してポストエコーが少し長めです。アナログ的な音質傾向です。

Dither

Dither はデジタル信号処理の過程で発生してしまう誤差を回避するため、入力された音声信号に微小かつランダムな値を加える機能です。Dither を加えることにより、わずかな S/N 比の変化があります。お好みに合わせて設定してください。

Dither 1
(お買い上げ時の設定):

当社が開発した Dither です。誤差を減少させ、かつ S/N 比の悪化を最小限に抑えます。

Dither 2:

一般的な Dither です。誤差を減少させますが、S/N 比もわずかに悪化します。

Off:

S/N 比は最も良くなりますが、誤差がサウンドステージや音色にわずかに影響します。

ご注意

- スーパーオーディオ CD の HD レイヤーおよび DSD ファイルの再生中は、Dither 機能がはたらきません。

Noise Shaper

デジタル負帰還技術を用いて可聴帯域内のリニアリティとノイズ特性を改善します。設定の種類は次のとおりです。設定を変えても性能は変わりませんが、音質は変わります。お好みに合わせて設定してください。

Balanced (お買い上げ時の設定):	高い S/N 比と開放的で精緻なサウンドステージを高度にバランスさせた設定です。
Natural:	高い S/N 比と自然な音調の設定ですが、解像度は抑え目です。
Dynamic Music:	S/N 比は高いですが、サウンドステージの解像度がわずかに下がります。周波数レンジの広い音楽をダイナミックに再生します。
Dynamic Voice:	5kHz 以下の帯域で高い S/N 比を持っています。生の楽器やボーカルをダイナミックに再生します。

ご注意

- スーパーオーディオ CD の HD レイヤーおよび DSD ファイルの再生中は、Noise Shaper 機能がはたらきません。

Digital Out

デジタル音声出力を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

On (お買い上げ時の設定):	デジタル音声信号を出力します。
Off:	デジタル音声信号を出力しません。

HP Amplifier Gain

ヘッドホンアンプのゲインを設定します。接続するヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定してください。ヘッドホンのインピーダンスが低い場合は“Low”側に、高い場合は“High”側に設定することをおすすめします。

High:	ヘッドホンアンプのゲインを“High”に設定します。お買い上げ時の設定では音量が小さいと感じる場合に設定してください。
Mid (お買い上げ時の設定):	ヘッドホンアンプのゲインを“Mid”に設定します。
Low:	ヘッドホンアンプのゲインを“Low”に設定します。お買い上げ時の設定では音量が大きいと感じる場合に設定してください。

ご注意

- “HP Amplifier Gain”の設定に合わせて、ヘッドホンの音量が変動します。音声を聴きながら設定を変更する場合は、音量を下げるか消音してからおこなってください。

Resume Play

USB メモリーの再生中に、入力ソースの切り替えや USB メモリーの抜き差し、または電源の入れ直しをおこなった場合、再生を中断したポイント(レジューム情報)を記憶し、その続きから再生することができます。

On (お買い上げ時の設定):	レジューム再生をおこないます。
Off:	レジューム再生をおこないません。

ご注意

- USB メモリーを取り外してから再び接続してもレジュームします。別の USB メモリーを接続すると以前の USB メモリーのレジューム情報は消去されます。
- USB メモリーを取り外してファイルの追加や削除をおこなった場合、レジューム情報が消去されることがあります。
- レジューム情報を消去するには、停止中に **⏏** を押してください。ディスプレイに“Resume Off”を表示します。

General

Illumination

この機能では、フロントパネルのイルミネーションとディスプレイの明るさを調節します。また、フロントパネルのイルミネーションをディスプレイの明るさに連動させることも可能です。明るさを“Off”にすると、音質に影響を与えるノイズ源が抑制され、高音質な再生がおこなえます。

■ ディスプレイ

100~5(お買い上げ時の設定: 100)

Off



- ディスプレイの明るさ設定は、ディマーマニューの設定と連動します。(P.32 ページ)

■ フロントパネル

Sync イルミネーションの明るさは、ディスプレイの明るさと連動します。
(お買い上げ時の設定):

100~5

Off

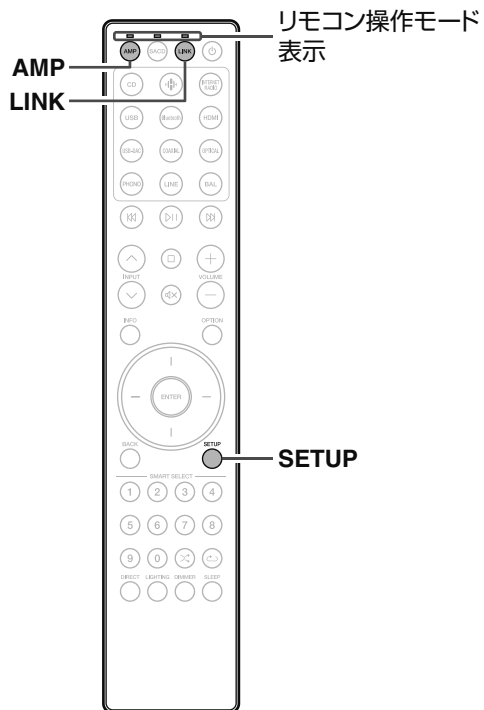
Auto-Standby

本機が停止状態で何も操作しない状態が 15 分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になるように設定します。

Off 本機をオートスタンバイモードに設定しませ
(お買い上げ時の設定): ん。

On: 本機をオートスタンバイモードに設定します。

リモコンのアンプ/ストリーミングプリアンプ操作モードを無効にする



本機と MODEL 10 または LINK 10n を組み合わせてお使いにならない場合、使用しない機器のリモコン操作モードを無効にできます。お買い上げ時は、すべてのリモコン操作モードを有効に設定しています。



- リモコン操作モードを有効にした場合は、必ずお使いの機器の動作を確認してください。

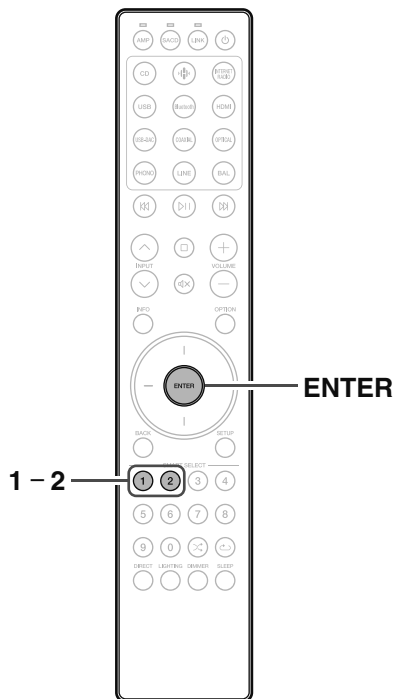
アンプ操作モードを無効にする

- 1 リモコン操作モード表示が緑色に点滅するまで AMP と SETUP を同時に長押しする。
 - 手順 1 をおこなうたびにアンプ操作モードの有効/無効が切り替わります。

ストリーミングプリアンプ操作モードを無効にする


- 1 リモコン操作モード表示が緑色に点滅するまで LINK と SETUP を同時に長押しする。
 - 手順 1 をおこなうたびにストリーミングプリアンプ操作モードの有効/無効が切り替わります。

リモコンの音量調節ボタンの操作対象機器を設定する



本機を Marantz 製のアンプまたはストリーミングプリアンプと組み合わせて使用する場合、付属のリモコンを SACD プレーヤー操作モードにしたままで、Marantz 製のアンプまたはストリーミングプリアンプの音量調節ができるよう、音量調節ボタンの操作対象機器を設定できます。



- リモコンの音量調節ボタンの操作対象機器を設定したあとは、必ずお使いの機器の動作を確認してください。
- 操作対象機器設定の切り替えは、リモコンの VOLUME + ー および  に対して有効です。

SACD プレーヤー操作モード時の音量調節ボタンの操作対象機器を設定する

本機を Marantz 製のアンプまたはストリーミングプリアンプと組み合わせて使用する場合、付属のリモコンを SACD プレーヤー操作モードに設定したままで、音量調節ボタンの操作対象機器を切り替えられます。

お買い上げ時の操作対象機器の設定は「アンプ」です。

■ 音量調節ボタンの操作対象機器をアンプに設定する

- 1 リモコンの ENTER と 1 ボタンを 5 秒以上同時に長押しする。
AMP 表示が緑色で点滅します。

■ 音量調節ボタンの操作対象機器をストリーミングプリアンプに設定する

- 1 リモコンの ENTER と 2 ボタンを 5 秒以上同時に長押しする。
LINK 表示が緑色で点滅します。

困ったときは

■ 目次

こんなときの解決方法

フィルターの特性を切り替えて音質の違いを楽しみたい	65
アナログ音声を高音質に再生したい	65
スーパーオーディオ CD のテキストを表示したい	65
スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルエリアを再生したい	65
特定のフォルダのみを再生したい	65
DVD-R/-RW/+R/+RW または CD-R/-RW 内のすべての曲をランダムに再生したい	65
ハイレゾ音源のファイルを再生したい	65
USB メモリーの自動再生を解除したい	66
電源オフ状態から簡単に操作したい	66
本機のリモコンで Marantz 製のアンプやストリーミングリアンプを操作したい	66

故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる	68
リモコンで操作ができない	69
本機のディスプレイが表示されない	70
音がまったく出ない	70
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	71
希望する音が出ない	71
USB メモリーが再生できない	72
ディスクが再生できない	73
ディスクトレイが開き始めるまでに時間が掛かる	73
パソコン内や Mac 内の音楽ファイルが再生できない(USB-DAC)	74
デジタル機器の音声を再生できない(Coaxial/Optical)	74

こんなときの解決方法

フィルターの特性を切り替えて音質の違うを楽しみたい

- フィルターの特性を切り替えてください。(P.56 ページ)

アナログ音声を高音質に再生したい

- 設定メニューの“Digital Out”を“Off”に設定してください。(P.57 ページ)
- DIMMER ボタンを押して、ディスプレイの明るさを消灯にしてください。(P.32 ページ)
- LIGHTING ボタンを押して、ディスプレイとフロントパネルのイルミネーションを消灯にしてください。(P.33 ページ)

スーパーオーディオ CD のテキストを表示したい

- 本機はスーパーオーディオ CD のテキスト情報表示に対応しています。INFO を押して、ディスプレイ表示を切り替えてください。(P.34 ページ)


スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルエリアを再生したい

- 本機はマルチチャンネルを 2 チャンネルにダウンミックスして再生できます。OPTION ボタンを押して、“MULTI”に設定してください。(P.37 ページ)

特定のフォルダのみを再生したい

- OPTION ボタンを押して、再生モードをフォルダ再生モードに設定してください。(P.40 ページ)

DVD-R/-RW/+R/+RW または CD-R/-RW 内のすべての曲をランダムに再生したい

- あらかじめ OPTION ボタンを押して再生モードを“全曲再生モード”に設定してから、 ボタンを押して、ランダム再生をおこなってください。(P.40 ページ)

ハイレゾ音源のファイルを再生したい

- 本機は USB メモリーに保存したハイレゾ音源のファイルを再生できます。(P.80 ページ)

USB メモリーの自動再生を解除したい

- 設定メニューの“Resume Play”を“Off”に設定してください。(P.58 ページ)

電源オフ状態から簡単に操作したい

- **▶** ボタンを押すと、自動的に本機の電源が入り、最後に選択していた入力ソースの再生をはじめます。

本機のリモコンで Marantz 製のアンプやストリーミングプリアンプを操作したい


- 本機のリモコンでも Marantz 製アンプやストリーミングプリアンプを操作できます。また、各機器の取扱説明書も合わせてお読みください。(P.16 ページ)

故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか



- 上記の手順 1～3 をおこなっても動作が改善しない場合、本機を再起動すると改善することがあります。
ディスプレイに“Restart”が表示されるまで、本体の  ボタンを押し続けるか、本機の電源コードを抜き差ししてください。

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(P.29 ページ)
- 本機はスタンバイ状態です。本体の **⏻** ボタンを押すかリモコンの **⏻** ボタンを押してください。(P.31 ページ)

電源が自動的に切れる。

- オートスタンバイモードの設定がオンになっています。オートスタンバイモードでは何も操作しない状態が 15 分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になります。オートスタンバイモードを解除するには、設定メニューの“Auto-Standby”を“Off”に設定してください。(P.59 ページ)

電源を入れたときに、電源表示が橙色に点滅している。

- 内部電源の異常により、保護回路がはたらいています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

リモコンで操作ができない

リモコンで操作ができない。

- 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。(P.7 ページ)
- リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。(P.7 ページ)
- 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
- 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。(P.7 ページ)
- 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。
- 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の赤外線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなる場合があります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。
- SACD ボタンを押して、リモコンの操作モードを SACD プレーヤー操作モードに切り替えてください。(P.13 ページ)
- リモコンの SACD プレーヤー操作モードが無効になっています。SACD プレーヤー操作モードを有効にするには、SACD ボタンと SETUP ボタンを同時に 3 秒以上長押ししてください。
- VOLUME + および MUTE ボタンの操作対象機器が、Marantz 製ストリーミングプリアンプになっています。リモコンが SACD プレーヤー操作モードで、本機に接続された Marantz 製アンプの音量調節ができない場合は、操作対象機器をアンプに切り替えてください。(P.62 ページ)
- VOLUME + および MUTE ボタンの操作対象機器が、Marantz 製アンプになっています。リモコンが SACD プレーヤー操作モードで、本機に接続された Marantz 製ストリーミングプリアンプの音量調節ができない場合は、操作対象機器をストリーミングプリアンプに切り替えてください。(P.62 ページ)
- アンプと本機をリモート接続しない場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。(P.27 ページ)

本機のディスプレイが表示されない

ディスプレイの表示が消える。

- DIMMER ボタンを押して、消灯以外の設定に切り替えてください。(P.32 ページ)
- 設定メニューの“Illumination” - “Display”を“Off”以外に設定してください。(P.59 ページ)
- LIGHTING ボタンを押して、ディスプレイを点灯してください。(P.33 ページ)

音がまったく出ない

音が出ない。または歪む。

- すべての機器の接続を確認してください。(P.19 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- アンプの設定を確認し、適切に調節してください。
- デジタル音声入力端子付きの機器を接続する場合、“Digital Out”を“On”に設定してください。(P.57 ページ)
- スーパーオーディオ CD の HD レイヤー、DSD 信号およびサンプリング周波数が 352.8kHz 以上のリニア PCM 信号のファイルの再生中は、デジタル音声出力を停止します。

音が途切れたり、ノイズが入ったりする

CD-R/-RW または DVD-R/-RW/+R/+RW を再生中に音が途切れる。

- ハイレゾリューション音源が記録された CD-R/-RW を再生すると、音が途切れることがあります。
- 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。

USB メモリーを再生中に、音が途切れることがある。

- USB メモリーの転送速度が遅いと音が途切れることがあります。

パソコンの曲を再生中に音が途切れる。

- パソコンの曲の再生中は、プレーヤーソフト以外のアプリケーションを起動しないでください。
- お使いのパソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、音が途切れることがあります。

希望する音が出ない

ヘッドホンの音量が小さい。

- インピーダンスの高いヘッドホンや感度の低いヘッドホンを使用するときは、設定メニューの“HP Amplifier Gain”の設定を“High”に切り替えてください。「HP Amplifier Gain」(P.58 ページ)

USB メモリーが再生できない

USB メモリーが認識できない。

- USB メモリーを接続し直してください。(P.25 ページ)
- マスストレージクラス対応の USB メモリーに対応しています。
- USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは直接接続してください。
- USB メモリーのフォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。
- すべての USB メモリーの動作は保証できません。一部の USB メモリーは、認識できない場合があります。また、AC アダプターから電源供給できるタイプの USB 接続対応ポータブルハードディスクを使用する場合は、ハードディスクに AC アダプターを接続してください。

USB メモリー内のファイルを表示しない。

- 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。(P.80 ページ)
- 本機が表示できるファイル構成は最大 8 階層、フォルダ数は最大 1,000 個、1 つのフォルダに含まれるファイル数は最大 2,000 個です。USB メモリーのフォルダ構成を変更してください。
- USB メモリーに複数のパーティションがある場合、先頭のパーティションのファイルのみを表示します。

iOS および Android 機器が認識できない。

- 本機の USB 端子は、iOS および Android 機器の再生には対応していません。

USB メモリー内のファイルを再生できない。

- 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。(P.80 ページ)
- 著作権保護のかかったファイルを再生しようとしています。本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。
- ファイルサイズが 2MB を超えるアルバムアートを使用している場合、再生できない場合があります。

ディスクが再生できない

再生ボタンを押しても再生しない、またはディスクの特定の場所が正しく再生できない。

- ディスクが汚れたり、傷が付いたりしています。ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。(☞84 ページ)

CD-R/-RW や DVD-R/-RW/+R/+RW が再生できない。

- ファイナライズをしていないディスクは再生できません。ファイナライズしたディスクをご使用ください。(☞77 ページ)
- 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。
- 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。(☞78 ページ)

“No Disc”と表示される。

- ディスクを裏返しに入れた場合、ディスクが入っていない場合、本機が対応していないディスクを入れたり、汚れや傷のあるディスクを入れたりして本機がディスクを読み込めない場合には、“No Disc”を表示します。

“System Error”と表示される。

- ディスクやフォーマットに起因しないエラーが起きた場合には、“System Error”を表示します。当社の修理相談窓口までご連絡ください。

“Wrong Format”と表示される。

- 本機が対応していないフォーマットで作成されている場合には、“Wrong Format”を表示します。本機が対応しているフォーマットを確認してください。(☞78 ページ)

ディスクトレイが開き始めるまでに時間が掛かる

ディスクトレイが開き始めるまでに時間が掛かる。

- “CD”以外の入力ソースが選択されている場合、本機に内蔵された CD メカエンジンの電源を切ることにより、高音質化を図っています。CD メカエンジンの電源が切れていることで起こる現象であり、故障ではありません。

パソコン内や Mac 内の音楽ファイルが再生できない(USB-DAC)

パソコンで本機が認識されない。

- ご使用のパソコンの USB 端子に USB ケーブルを挿し直してください。挿し直しても本機が認識されないときは、別の USB 端子に挿してください。(P.24 ページ)
- ご使用のパソコンを再起動してください。
- ご使用のパソコンの OS を確認してください。(P.45 ページ)
- ご使用のパソコンが Windows の場合は、専用ドライバーのインストールが必要です。(P.45 ページ)

再生デバイスとして本機が選択されていない。

- パソコンのサウンド設定で、再生デバイスとして本機を選択してください。(P.45 ページ)

“Signal Unlock”と表示される。

- デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Signal Unlock”を表示します。(P.52 ページ)

“Unsupported”と表示される。

- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。パソコンまたはプレーヤーソフトの設定を確認してください。(P.52 ページ)
- ご使用のパソコンが macOS の場合は、“Audio MIDI 設定”で、SACD 10 のフォーマットが “384.0 kHz” 以下に設定されているか、確認してください。(P.51 ページ)

デジタル機器の音声を再生できない(Coaxial/Optical)

“Signal Unlock”と表示される。

- デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Signal Unlock”を表示します。(P.53 ページ)

“Unsupported”と表示される。

- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。ご使用のデジタル機器の音声出力信号フォーマットを確認してください。(P.53 ページ)

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料・・・故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代・・・修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料・・・製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるためのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

ディスクの再生について

再生できるメディア	
スーパーオーディオ CD	
CD	
CD-R	
CD-RW	
DVD-R/-RW/+R/+RW	

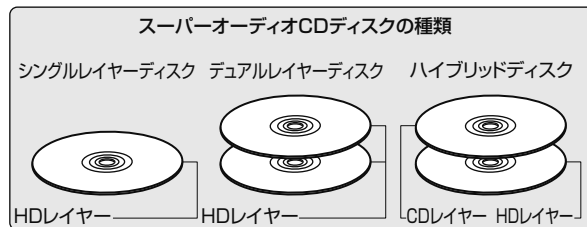
ご注意

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。

■ スーパーオーディオ CD

スーパーオーディオ CD には次の 3 つの種類があります。

- ① シングルレイヤーディスク
HD レイヤーのみで構成される一層のスーパーオーディオ CD です。
- ② デュアルレイヤーディスク
HD レイヤーが二層構造のスーパーオーディオ CD です。高音質で長時間の再生ができます。
- ③ ハイブリッドディスク
HD レイヤーと CD レイヤーの二層構造のスーパーオーディオ CD です。CD レイヤーの内容は通常の CD プレーヤーで再生することができます。



HD レイヤーとは、スーパーオーディオ CD 用の高密度信号層のことです。
CD レイヤーとは、通常の CD プレーヤーで読み取り可能な層のことです。



- “MULTI”を選択した場合は、L チャンネルと R チャンネルにダウンミックスした音声を出力します。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	ビット長	再生できるディスクの種類			拡張子
				CD-R/-RW	DVD-R/-RW	DVD+R/+RW	
MP3	44.1/48kHz	32~320kbps	-	✓	✓	✓	.mp3
WMA	44.1/48kHz	48~320kbps	-	✓	✓	✓	.wma
AAC	44.1/48kHz	16~320kbps	-	✓	✓	✓	.aac/ .m4a
WAV	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	16/24 ビット	✓*2	✓	✓	.wav
FLAC	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	16/24 ビット	✓*2	✓	✓	.flac
Apple Lossless*1	44.1/48/ 88.2/96kHz	-	16/24 ビット	✓*2	✓	✓	.m4a
AIFF	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	16/24 ビット	✓*2	✓	✓	.aif/ .aiff
DSD	2.8/5.6MHz	-	1 ビット	-	✓	✓	.dsf/ .dff

- *1 Apple Lossless Audio Codec(ALAC)デコーダは Apache License Version 2.0(<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>)に基づいて配布されています。
- *2 この項目は、再生できるファイルのサンプリング周波数が 44.1/48kHz のみとなります。

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大フォルダ数:1,000 個

1 つのフォルダに含まれる最大ファイル数:2,000 個

ご注意

- ファイルには必ず拡張子を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外では著作権法上、権利者に無断で使用できません。



- 本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生できます。
 - インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数は、ファイルおよびフォルダ名の長さやフォルダの階層数などの条件により、変わります。

USB メモリーの再生について

■ USB 対応ファイルシステム

FAT16 または FAT32

- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大フォルダ数: 1,000 個

1 つのフォルダに含まれる最大ファイル数: 2,000 個

■ タグ情報

ID3 タグ (Ver. 1.x と 2.x)

WMA タグ

(タイトル、アーティストおよびアルバムに対応)

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート(Bit rate)	ビット長	拡張子
MP3	44.1/48 kHz	32~320kbps	-	.mp3
WMA	44.1/48 kHz	48~320kbps	-	.wma
AAC	44.1/48 kHz	16~320kbps	-	.aac/ .m4a
WAV	44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	-	16/24 ビット	.wav
FLAC	44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	-	16/24 ビット	.flac
Apple Lossless*	44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	-	16/24 ビット	.m4a
AIFF	44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	-	16/24 ビット	.aif/ .aiff
DSD	2.8/5.6 MHz	-	1 ビット	.dsf/ .dff

* Apple Lossless Audio Codec(ALAC)デコーダは Apache License Version 2.0(<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>)に基づいて配布されています。

ご注意

- ファイルには必ず拡張子を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外では著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本機は MP3 プレーヤー、デジタルカメラ、携帯電話などの USB 機器には対応していません。
- 本機はカードリーダー、USB 延長ケーブル、USB ハブには対応していません。



- 本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生できます。
 - インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数は、ファイルおよびフォルダ名の長さやフォルダの階層数などの条件により、変わります。

ファイルの再生順番について

音楽ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイルがメディアに記録された日時が古いファイルから順に再生します。

CD-R/-RW、DVD-R/-RW/+R/+RW および USB メモリー

CD-R/-RW や DVD-R/-RW/+R/+RW および USB メモリーに記録しているファイルは、第一階層のすべてのフォルダにあるファイルを再生したあとに第二階層のすべてのフォルダ、第三階層のすべてのフォルダ……の順番に再生します。

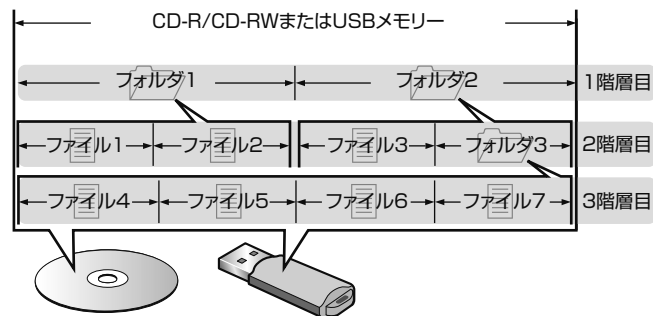


- パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。
- CD-R/-RW および DVD-R/-RW/+R/+RW のライティングソフトによっては、再生する順番が異なる場合があります。
- USB メモリーのフォルダやファイルの削除や追加をおこなうと、記録順とは違う順に再生をすることがあります。これはデータ記録上の仕様によるもので、故障ではありません。

フォルダとファイルについて

DVD-R/-RW/+R/+RW、CD-R/-RW および USB メモリーに記録された音楽ファイルは、いくつかの大きな区切り(フォルダ)と小さな区切り(ファイル)に分けられています。

ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。本機は 8 階層まで認識できます。

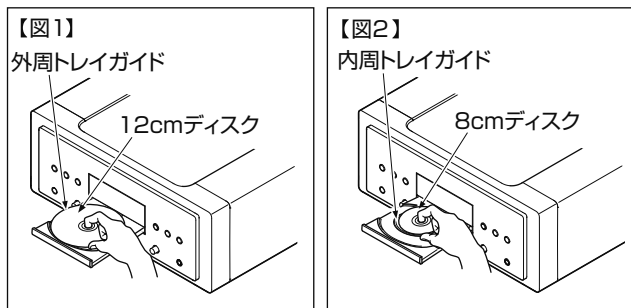


- 音楽ファイルを CD-R/-RW または DVD-R/-RW/+R/+RW に書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは「ISO9660」でおこなってください。他のフォーマットで記録された場合、正しく再生できないことがあります。詳しくは、ご使用のライティングソフトの説明書をご覧ください。

メディア使用時のご注意

ディスクの入れかた

- 記録面を下にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド(図 1)に合わせ、8cm ディスクは内周トレイガイド(図 2)に合わせて、水平に載せてください。



- 8cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて載せてください。

ご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- レンタルディスクのラベルやセロハンテープなどの糊がはみ出したものや、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなり、故障の原因になることがあります。
- 特殊形状のディスクの再生は、故障の原因になりますので使用しないでください。



- 電源がスタンバイ状態で、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。
- 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

メディアの取り扱いについて

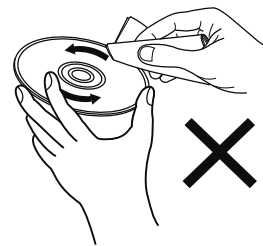
- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷を付けないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- ディスクの中心の穴を大きくしないでください。
- ディスクのレーベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- ディスクを屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクの表面に水滴がつくことがあります。ヘアードライヤーなどで乾かささないでください。
- USB メモリーの再生中に USB メモリーを抜いたり、本機の電源をスタンバイにしたりしないでください。ファイルが壊れて、故障の原因になることがあります。
- USB メモリーは分解したり、修理したりしないでください。
- 静電気によって、USB メモリーやファイルが壊れることがあります。USB メモリーの金属端子部を指などで触らないでください。
- 変形した USB メモリーを使用しないでください。
- ご使用後は、必ず USB メモリーを取り出し、ほこりや傷、変形などを避けるため、必ず専用のケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
 1. 直射日光が長時間当たるところ
 2. 湿気・ほこりなどが多いところ
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れをふき取ってからご使用ください。
- ふき取りには、別売りのディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽くふく。



円周に沿ってはふかない。

ご注意

- レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は、使用しないでください。

デジタル入力

■ 再生できる音声信号の仕様

□ USB-DAC

	サンプリング周波数	ビット長
DSD (2チャンネル)	2.8/5.6/ 11.2 MHz	1 ビット
リニア PCM (2チャンネル)	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/ 384 kHz	16/24/32 ビット



- DSD 信号およびサンプリング周波数が 352.8/384kHz のリニア PCM 信号を再生した場合は、デジタル音声出力を停止します。

□ Coaxial/Optical

	サンプリング周波数	ビット長
リニア PCM (2チャンネル)	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192kHz	16/24 ビット

用語の解説

AIFF (Audio Interchange File Format)

非圧縮ロスレス方式のデジタル音声ファイルフォーマットです。AIFF ファイルは、読み込んだ曲から高音質オーディオ CD を作成する場合に使用します。AIFF ファイルは、1 分あたり約 10MB のディスク領域を使用します。

Apple Lossless Audio Codec

Apple 社が開発した音声可逆圧縮方式のコーデックです。iTunes や iPod、iPhone で再生が可能です。約 60~70% に圧縮されたデータを完全に元どおりのデータに再現します。

DSD (Direct-Stream Digital)

音声データ記録方式の 1 つで、スーパーオーディオ CD にオーディオ信号を格納する信号形態で、 Δ - Σ 変調されたデジタルオーディオです。

FLAC (Free Lossless Audio Codec)

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。FLAC のライセンスについては、次のとおりです。

Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MP3 (MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD 並の音質を保ったままデータ量を約 1/11 に圧縮できます。

MPEG (Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2 Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2 Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

WMA (Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード(符号化)することができます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正しく動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。

1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

ダウンミックス

サラウンド音声のチャンネル数を、より少ないチャンネル数に変換して再生する機能です。

ビットレート

ディスクに記録された映像/音声データを 1 秒あたりに何ビット処理したかを表します。

ファイナライズ

DVD/CD などのレコーダーで収録したディスクを、再生対応機器で再生できるように処理することです。

リニア PCM

圧縮していない PCM(Pulse Code Modulation)信号です。MP3 などの非可逆圧縮音源と異なり、音質やダイナミックレンジの低下がありません。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。

主な仕様

■ オーディオ特性

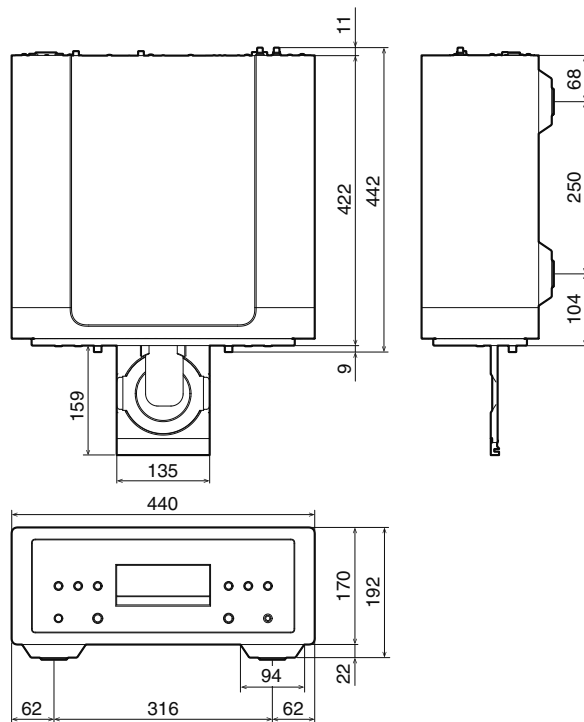
• アナログ出力	[スーパーオーディオ CD]	[CD]
チャンネル:	2 チャンネル	2 チャンネル
再生周波数範囲:	2Hz~100kHz	2Hz~20kHz
再生周波数特性:	2Hz~50kHz(-3dB)	2Hz~20kHz(±1dB)
S/N:	118dB(可聴帯域)	116dB
ダイナミックレンジ:	112dB(可聴帯域)	98dB
高調波歪率:	0.0004%(1kHz, 可聴帯域)	0.0015%(1kHz)
ワウ・フラッター:	水晶精度	水晶精度
• 出力レベル		
アンバランス:	2.5V(10kΩ)	2.0V(10kΩ)
バランス:	5.0V(10kΩ)	4.0V(10kΩ)
ヘッドホン出力:	130mW/32Ω(可変最大)	130mW/32Ω(可変最大)
• デジタル出力		
同軸出力:	-	0.5Vp-p/75Ω
光出力:	-	-19dBm
• 光学読み取り方式		
レーザー:	AlGaAs	AlGaAs
波長:	650nm	780nm
信号方式:	1 ビット DSD	16 ビット リニア PCM
サンプリング周波数:	2.8224MHz	44.1kHz

■ 総合

電源:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	55W
スタンバイ時の消費電力:	0.3W 以下
動作温度:	+5℃～+35℃
許容動作湿度:	5～90%(結露のないこと)

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法(単位:mm)



■ 質量:33.0 kg

索引

👉 C	
CD	34
👉 D	
D/A コンバーター	22
データ DVD	38
👉 S	
スーパーオーディオ CD	34
👉 U	
USB メモリー	25, 41
👉 あ	
アンプ	20, 22

👉 お	
オートスタンバイ	59

👉 こ	
故障かな?と思ったら	67
こんなときの解決方法	65

👉 て	
ディスプレイの明るさ	32
データ CD	38

👉 ふ	
フロントパネル	8

👉 り	
リアパネル	11
リモコン	13

marantz

Printed in Japan 5411 12116 00AS
© 2024 Masimo. All Rights Reserved.